

会長のページ	九医連担当を終えて	河野 雅行	3
COVID-19報告	新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（7月6日現在）	吉田 建世	4
日州医談	医師国保とロコモ・フレイル	川野啓一郎	6
はまゆう随筆（その2）	竹尾 康男, 岩見 晶臣, 加嶋 亜紀, 田中 善久, 税所幸一郎, 市原 美宏, 坂田 師通, 原田 一道, 長沼弘三郎, 浅田 敬子, 岩崎 直哉, 宝珠山 弘, 長嶺 元久		8
私が推薦する本	「寅市つれづれ日記」「じいちゃんありがとう」	青木 洋子	19
エコー・リレー（552）		長澤 伸二, 西浦 亮介	21
メディアの目	死後もVIP待遇	上野 敏彦	22
宮崎大学医学部だより（宮崎大学医学部附属病院 コミュニティ・メディカルセンター）		近藤 千博	28
専門分科医会だより（泌尿器科医会）		蓑田 国広	29
ニューメンバー		難波 清	47
診療メモ	モンスターペイシェント対策と事前準備について	高山 桂	74
宮大医学部学生のページ	音楽祭ご報告	崔 慧瑩	76

あなたできますか？（令和2年度医師国家試験問題より）	20
宮崎県感染症発生動向	24
各郡市医師会だより	26
第174回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	30
令和3年度第78回宮崎県医師会総会	34
九州医師会連合会第390回常任委員会	36
令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	38
日医インターネットニュースから	42
医師協同組合だより	44
ベストセラー	45
医師国保組合だより	46
会員の異動・変更報告	48
理事会日誌	50
県医の動き	56
ドクターバンク情報	57
行事予定	63
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	67
あとがき	84

お知らせ	カット・イラストの募集	18
	第22回宮崎県医師会医家芸術展	23
	令和3年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	41
	地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	47
	医師年金ご加入のおすすめ	55
	日州医事へのご意見・ご感想	61
	第5回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	65
	郡市医師会への送付文書	78
	女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	82
	医療勤務環境改善支援センター	83

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

祭が帰る

青島神社夏祭りでは、勇壮な暴れ神輿が登場して、場内は興奮の^{るっぽ}坩堝と化し、担い手の若者たちも感極まって涙を流すほどです。

陽が傾いて祭が終わるところになると、それまでの熱気は急速に萎えて寂寥感に包まれます。昼間の名残りの入道雲をバックに帰路についた子どもたちの一行を写して楽しかった夏休みの思い出の一頁にしました。

宮崎市 たけ お やす お
竹 尾 康 男

会長のページ

九医連担当を終えて

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

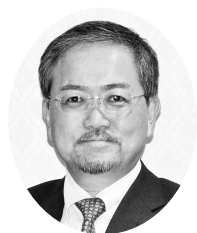
昨年7月に佐賀県医から引き継ぎまして1年の任期が過ぎました。去る6月末に、次期担当の沖縄県医に引き継ぎました。長期間のプレッシャーから解放されてようやく安堵しています。引継行事は本来であれば来賓していただく予定でしたが、コロナ災禍が終息しておらず安全性の面から7月中旬にWeb会議システムやメール・郵便などで施行します。年間行事のうち九医連総会などは一昨年から準備に取り掛かり、通常であれば万全であったところ、昨年頭から世界中のコロナ騒動で、九医連への影響も例外ではなく多くの困難・障害に遭遇しました。特に、移動・会合・会食に制限が加わったことが最大でした。会合や会食は各県の親

睦を深め、討議を充分に交わすためには最良の方法です。各地で緊急事態宣言が発せられ、それまでの定型的な会合が不可能となりさまざまな工夫を余儀なくされました。隔月の九州各県医師会会長で構成される常任委員会および2回の各種協議会はWeb会議システムを利用し、多少のトラブルはありながらも何とか会議を開催しました。その他の諸会議は書面開催や残念ながら中止としたものもありました。11月開催の最も大きなイベントである総会・医学会・記念行事については、医学会のうち分科会のいくつかと記念行事・懇親会は中止としました。準備をされた担当の先生やスタッフの皆様にはご苦労をお掛けし、参加を希望されていた皆様には大変申しわけなく思います。それでも総会や残り一部の分科会はWeb会議システムを利用して何とか挙行しました。総会で、中川日医会長にはリモートでのご挨拶とご講演を、河野県知事、自見参議院議員、戸敷宮崎市長、池ノ上宮崎大学長、重城県歯科医師会会長、小山県薬剤師会会長には直接会場にてご挨拶をいただき、羽生田参議院議員からは祝辞をいただきました。次年度担当の沖縄県医安里会長には視察のために無理を押してご来県、ご挨拶をいただきました。宮崎大学の水光副学長と徐教授のお二人による特別講演は、九州各県へWeb会議システムで配信しただけでなく、ご自宅でも視聴できるようYouTubeでも配信しました。本会場には県内医師会員のみでしたので講師の先生方には少し物足りなさを感じられたかもしれません。しかし、内容については、受講された皆様から好評を得ました。勝手の違う中でご講演いただきました講師の先生方には感謝申し上げます。このように大幅な変更を余儀なくさせられながらも予定された総会・特別講演などの諸行事を始めとする日程を何とか無事に終了することができました。本県を始めとして各県医師会の役員・職員の皆様には大変お世話になり感謝いたします。更に、何を置きましても会員諸氏のご協力に負うところが大きく、深謝いたします。また、Web会議もデメリットばかりではなく、移動時間や費用がかからないメリットも再認識しましたし、コロナ後も有効活用を図るべきかと思えます。

次回は8年後に宮崎県医担当の予定です。その際には奮って会場でのご参加をお願いいたします。

(令和3年7月12日)

COVID-19報告

新型コロナウイルス感染症に係る
県医師会の動き（7月6日現在）宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

令和3年6月に入り、新型コロナウイルス感染症の第4波は、徐々に鎮静化していき、東京、大阪、兵庫、北海道など10都道府県に出されていた『緊急事態宣言』は、沖縄を除く9都道府県で6月20日までで解除され、6月21日からは広島、岡山を除く7都道府県で『まん延防止等重点措置』に移行し、これまでの神奈川、埼玉、千葉を含めて、『まん延防止等重点措置』が7月11日までに10か所で続けられることとなった。しかし、首都圏の1都3県では、人の動きが増えたこともあり、徐々に感染拡大傾向がみられている。しかも変異株が、英国型より感染力が強い（従来型の2倍）とされるインド型（デルタ株）が見られるようになってきている。国は、7月21日より始まる「東京オリンピック」にむけて、感染拡大防止対策をどのように進めていくか難しい判断を迫られている。

宮崎県では、5月31日に県独自の『緊急事態宣言』を解除した以降は、新型コロナウイルス感染症は小康状態が続いている。本日7月6日での警戒レベルは、レベル2（特別警報）で、県内7か所のうち、感染確認圏域（黄色圏域）は宮崎・東諸県圏域などの3か所となっている。しかし、宮崎県でもインド型変異株がみられており、注意が必要である。

本県での新型コロナワクチンの接種は、65歳以上の高齢者が、7月5日時点で、1回接種率

が71%、2回接種率が45%であり、医療従事者以外の高齢者を含む一般接種は、7月4日時点で、1回接種回数が26.4万回、2回接種回数が16万回となっている。九州でも上位の方に入っていて、順調に進んでいる。しかし、自治体が接種を進めているファイザー製ワクチンの供給は、国が行っている契約では7月以降供給量が減少していくことになっており、先日、河野規制改革大臣は、各自治体に必要な量のワクチンは10月には配送される予定であると言及されたが、今後適切にワクチンが供給されるかが、我々としては心配な点である。

7月6日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

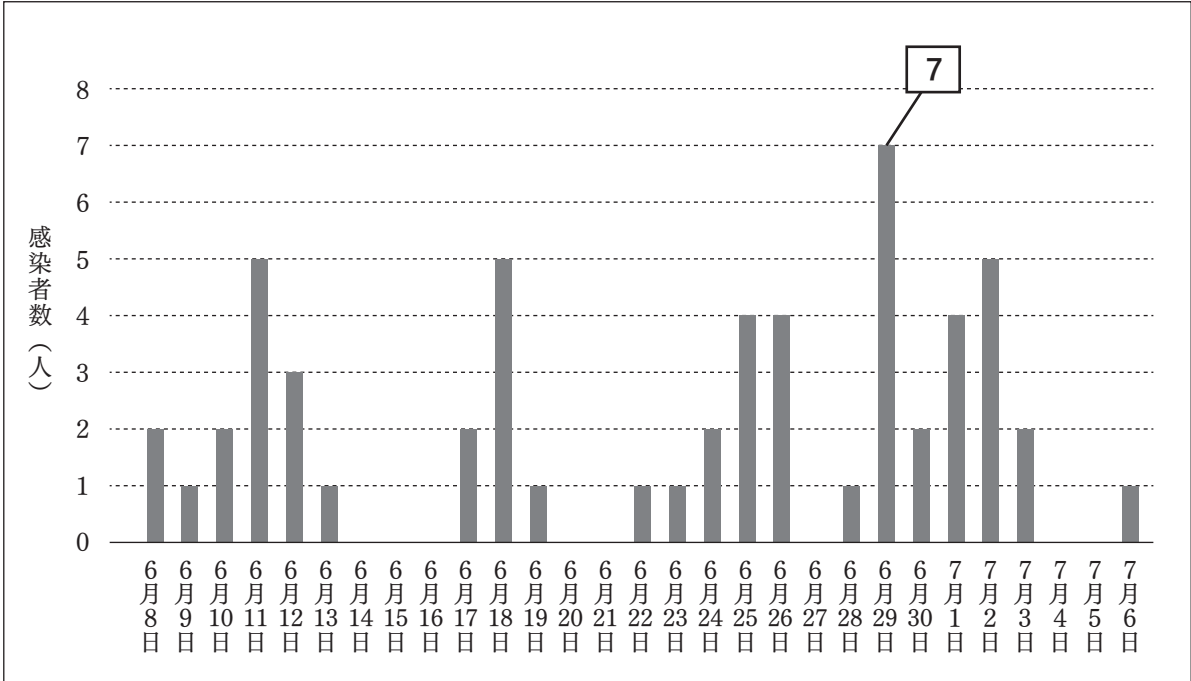
1 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

6月24日	FAXニュースNo.486 新型コロナウイルス感染症への対応について (55) ●新型コロナウイルスワクチン接種緊急支援事業補助金
-------	--

2 患者発生状況（公表日）

感染者数（6月8日～7月6日） 55名



宮崎県医師会では、「新型コロナウイルス感染症」に関するさまざまな情報（診療・ワクチン接種の手引き、各種支援金・融資、診療報酬の取扱いなど）をホームページ（<http://www.miyazaki.med.or.jp/>）やメーリングリスト（MMA通信）にて随時お知らせしております。

メーリングリスト（MMA通信）への登録を希望される場合は、県医師会事務局宛（office@miyazaki.med.or.jp）にメールを送信してください。折り返し事務局から登録に関するメールを送信いたします。

日州医談



医師国保とロコモ・フレイル

宮崎県医師会 理事 かわの けいいちろう
川 野 啓一郎

1. はじめに

県医師国保組合は、秦理事長のご指示の下、組合員の先生方の健康維持をはかることを目的としたロコモ予防のリーフレットを平成27年に作成し、組合員の先生方へお送りいたしました。監修は宮崎大学医学部整形外科学教室の帖佐悦男教授でした。

このたび厚生労働省より「ロコモ・フレイル予防」という新たな方針が示され、また、コロナ禍における自粛に起因する体力低下の影響も考えられるところから、組合員の先生方へ向けての新たなリーフレット作成の指示が秦理事長より出されました。

2. 県医師国保組合の現状

平成28年より5年間にわたって定率国庫補助率の削減が行われてきており、現在の補助率はこの5年間で32%から13%になっています。それにともない、最近県医師国保組合の収支は赤字に転じています。詳しくは日州医事No. 853（2020年9月号）に佐々木理事が報告していますのでご参照ください。そこで組合員の先生方には、ぜひ健康維持に心掛けていただき県医師国保組合の収支の改善に寄与していただくようお願いする次第です。

3. ロコモとフレイル

ロコモ（ロコモティブシンドローム）とは運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態です。ロコモ度1の初期状態から、より進行したロコモ度3まで3段階に分けられ、それぞれの診断基準（各種テスト）および要介護状態にならないためのロコトレ（ロコモーショントレーニング）などの対策がすでに考案されています。

一方フレイルは、身体的フレイル、精神・心理的フレイル、社会的フレイルなど多面的概念ですが、身体的要因が大きな比重を占めています。また、フレイルの評価法や診断基準においては、統一した基準がないのが現状です。このように概念のうえでは、ロコモはフレイルの一部のように思われますが、実際には、ロコモがフレイル（サルコペニアを含む）を含有した状態であります。ロコモは障害のより早い段階から捉えられ、ロコモ度2以上に進行した場合に身体的フレイルとして捉えられるであろうと思われます。更にロコモ、フレイル両者ともに機能低下を可逆的と捉えているところから運動療法の意義が出てくると考えられています。

4. 歩ける喜びロコモ・フレイル予防

県医師国保組合では、ロコモ・フレイル予防の対策として前回作成したリーフレットの改訂版を作成するための検討を行っています。監修は前回同様、宮崎大学医学部整形外科学教室の帖佐悦男教授にお願いしてあります。今回はフレイルを加えた形で、新たにロコモ度3が加わり、それなりの改訂になるかと思われます。これに関してご要望、ご意見などございましたら事務局までご連絡いただけるとよろしいかと思います。

5. おわりに

このコロナ禍において自分で認識しない間に運動機能の低下をきたしている恐れがあります。このリーフレットのトレーニングは自宅で簡単に行うことができ、毎日の継続が可能なものです。リーフレットが手元に届きましたら、先生方ご自身のみならず適応となる患者さんに指導していただけるとよろしいかと思われます。全県下あらゆる診療科においてこのことが実践されれば、宮崎県が目指す「健康寿命日本一」は達成可能ではないかと考えています。



図 H27年作成 (一部抜粋)

はまゆう随筆

その2

(7,8月号に分けて掲載しております)

人情噺

宮崎市 竹尾耳鼻咽喉科医院 たけ お やす お
竹 尾 康 男

癌患者に病名を告知するようになったのは1990年ごろからだったように思います。今では全く考えられないことですが、癌イコール死と考えるのが当時の一般常識でした。

医者のお考え方もまちまちで、癌患者を生かすためにはより広範な切除が必要と考える積極派と、どうせ助からないなら手術侵襲は小さめにと望む部分切除派に色分けされていました。

積極派は遠大な治療テーマを持つお偉い先生方で、象牙の塔に住むに相応しい学究肌の先生方でした。対する受持医は、私もその中の一人ですが、自分が親身にお世話する患者さんを研究の犠牲にしてなるものかと上司に反論を繰り返す人情肌の若い医師たちでした。

ちょうどそのころ、遠路はるばる高知県から入院した患者さんがいました。中村さんという中年の男性で、舌から口腔底にかけて大きな癌があるだけでなく、リンパ節にも転移が見られる重症者でした。

間もなく開催された手術検討会では、人情派で学究的とは言い難い私が受持医ですから、患者さんの手術的侵襲を最小限に止めることを主張しました。しかし、学究的で先取の気概に燃える上司たちの「先進医療を行うことが大学の使命」という一貫した主張に一蹴されてしまいました。

こうして、患者さん本人の意向を聞かないままに学究的かつ先進的大手術が施行されました。大規模なだけで破壊的手術に終わるだけかも知れないという心配は拭えませんでした。後日、手術創が馬鹿でかいことを知った患者さんが、どんなに大きなショックを受けることかと思っただけでも恐ろしく、患者さんの深い悲しみに同情を禁じ得ませんでした。

幸か不幸か、私はその手術後数日で他の病院へ転属することになりました。

何年か経ったころ、私は南国土佐を旅する機会を得ました。有名な播磨屋橋で買物をしているとき、私の名前を呼ぶ声がありました。

「先生！ 先生ではありませんか？ 大学病院で先生に手術していただいた中村です。お陰様でこうして今も元気にしています。先生が命の恩人だと家族みんな感謝しています。先生は恩人中の恩人です」。

見ると、昔の面影は少ししかなく、口から下の頸部までの術後の大きな変形に驚かされます。下顎骨を半分切除し、舌と口腔底を一塊りとして取り除いてありますから、顔面に大きな醜形を来しただけでなく、下顎から絶えず唾を大量に垂れ流しにしています。

「先生！ 生きていてよかったです。家族と一緒に生活できているだけで幸せです」。

嬉しい言葉をたくさんいただいた私ですが、あの時激論を交わした学究派の先生方の言葉を思い浮かべながら、「癌は人情だけでは治らない」ことをあらためて思い知らされました。

川南湿原

西都市 いわみ小児科医院 いわ み あき おみ
岩 見 晶 臣

先日、久しぶりに川南湿原に行きました。10号線を北上し、国立宮崎病院の北側を左折して進むと、道路の奥に、広い駐車場があります。管理棟にはカラフルなガイドブックが置いてあり、観察道を歩けば、湿原全体を見て回ることができます。しかし私の知っている昔の湿原とは全く別の風景であり、特に困ったことは（当然のことですが）、観察道にはロープが張られ、湿原の中に入れないことです。

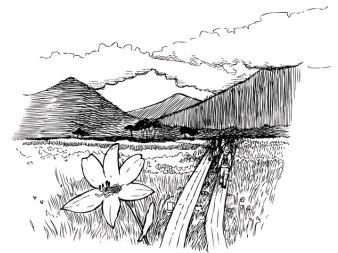
私が最初に川南湿原を訪れたのは、50年以上前のことです。当時の新聞に県指定の天然記念物の湿原として紹介された小さな記事が載っていました。高校の生物部員で、尾瀬ヶ原にあこがれていた私は、早速、出かけることにしました。五万分の一の地図を片手に国鉄川南駅を降り立ち、療養所の北側という情報だけを頼りに炎天下を1時間かけてようやく目的地にたどり着きました。療養所の北側は、憧れの尾瀬ヶ原とは全く違って一面のヤブで、看板も、入り口也没有。道なき道をやみくもに進んでいくと、やや開けた湿地にたどり着きました。あちこちに純白のサギソウが咲き、足元を見れば、食虫植物のモウセンゴケ、コモウセンゴケ、ミミカキグサがいたるところに生え、珍しいシロバナナガハノイシモチソウも見つかりました。中でも真っ黒な土にびっしりと群生したコモウセンゴケの鮮やかな緋色は、本当に美しいものでした。

その年の夏から秋にかけて、数回湿原に通い、

高校生活最後の文化祭に川南湿原の紹介をしました。顧問の先生が興味を示された以外ほとんど反響はありませんでしたが、私の高校生活の懐かしい思い出の一つです。

それから十数年後、たまたまその療養所に勤務することになり、その時訪れた湿原は高校生のときと変わらない風景でした。誰はばかりことなく侵入し、しゃがんで草をかき分ければ、コモウセンゴケの群生も健在でした。

それから更に30年経過した現在、湿原の希少生物保護のため、湿地と歩道を分けることは当然のことではありますが、せめて一度でいいからロープを乗り越えて湿原の中にジャバジャバと入り込み草むらをかき分け、いとしのコモウセンゴケと再会したいものだと思ひながら川南を後にしました。



心は皮膚にあるという説

宮崎市 くるみ皮膚科 ^か加 ^{しま}嶋 ^あ亜 ^き紀

タイトルは昨年話題になった俵万智さんの歌集「未来のサイズ」からの引用です。

5年前、開院でバタバタとしていたところに「驚きの皮膚」という単行本を読みました。著者の傳田光洋さんは長年資生堂の研究員をされた方です。皮膚には「見て」「聴いて」「味わい」「考え」「予知する」力がある。皮膚は脳より先にリスクを予知できるなど国内外の実験を踏まえ一般の方へも分かりやすい言葉で伝えられていました。

確かに皮膚科のどの教科書も、「皮膚の表面積は約1.6㎡で最大の臓器」云々から始まります。皮膚が体の最外層のバリアであり、感覚器であり、更に重要な免疫機構を備えていると書かれています。20年前は少々大袈裟に感じていましたが、今ではそれを短い時間でどうお伝えできるか心を砕いています。皮膚をよい状態にし、よりよい生活を送っていただきたい、毎日繰り返しお伝えしてきたつもりでした。

そんな2020年夏、俵万智さんの歌集に出会いました。コロナ禍でソーシャルディスタンスが浸透、ごく一部では医療者へ差別的な雰囲気もあり、触診すら憚られるような日々。

「抱きしめて確かめている子のかたち心は皮膚にあるという説」

はっとしました。肌の触れ合いによる親密な交流を誰でもが感じています。それをこんなに

シンプルに伝えられるなんて。

大学医局員のころ、陪席でふと先輩が漏らされました。高齢の患者さんの身につけた下着で、ああ、この方はご家族から大切にされているなと感じると。ご経験に基づいた細やかな心配りに感服しました。診断の正確さだけでなく背景も感じ全人的に診ておられると。

皮膚科医の診断能力は特にメラノーマなどではディープラーニングに追い越されるのではと言われることすらあります。未熟な私はなおさらで日々の診療は緊張の連続です。それでも「人の温かさ」を感じ合える診療を心がけたいと願っています。

緑風荘宿泊記

宮崎市 宮崎善仁会病院 ^た田 ^{なか}中 ^{よし}善 ^{ひさ}久

皆さんは緑風荘という旅館をご存知でしょうか？岩手県二戸市の金田一温泉にあり、座敷わらしが出る旅館です。座敷わらしの名前は亀麿といい、南北朝時代に南朝の武將がこの地まで落ち延びた際、6歳の息子が病死し、霊になって緑風荘に棲みついたということです。この2、3年で4回宿泊に行き、そのたびに不思議な体験をしました。そのときのことを書きます。

初めて訪れたとき、部屋に荷物を置いた後、裏庭にある小さな神社（稲荷神社、亀麿神社）

にお詣りしました。稲荷神社で祠に手を合わせた瞬間、ゴーという音とともに台風のような強風が吹きだし、1分ほど続きました。近くの大木の太い枝が根元から揺れていました。曇っていましたが空も少し暗くなったようでした。「ここにはやはり何か棲んでいる！」と確信しました。

3回目の宿泊時には夕方、まだ西日が差しているときに風呂に入りに行き、浴場で一人だったので「亀麿君、夜、遊びに行くからね」と言ったら洗面台の壁からコン、コンとノック音がしました。その後もドン！ドン！と何度も壁を叩く音がしました。

何回目か忘れましたが風呂から上がり、浴衣に着替え、夕食の会場に向かい、廊下を歩いていたら強い力でグイッと裾を引っ張られました。周りには誰もいませんでした。

夕食は地元の食材をふんだんに使った料理でかなりの量がありました。あまりに多いので「料理控えめプラン」があります。ご飯はこの近くでしか採れない「きらほ」という米を使っていて非常においしかったです。収穫量が少なく、市場に出せる生産量ではありませんがふるさと納税で入手可能です。1万3千円の寄付で7.2kg届きます。冷めてもモチモチ感があり、炊いた翌日でもおいしいです。

夜になると宿泊客が「槐（えんじゅ）の間」（写真1）という共有スペースに集まってきます。この部屋によく出るということで皆さんスマホを持ってきて動画や写真を撮っていました。宿泊客の1人が紙風船を2、3個膨らませ、畳の上に並べて置いたら少しして1個だけ動き始めました。また、その部屋ではオーブと

いう白い光の玉が勢いよく飛んでいるのが動画のモニターで分かりました。オーブは宿泊した部屋でも多数確認できました。肉眼では何も見えないのですがモニターではしっかり写っていました。帰りがけの車内や帰宅後、自宅でもオーブが写りました。ついてくることもあるそうです。

宿泊中は座敷わらしの姿を見ることはできませんでしたが不思議な体験が起こり、確かに座敷わらしがいると思いました。コロナが落ち着いたらまた宿泊に行きたいと思います。

追：今年の鏡開きにぜんざいを作り、自宅でお供えをして翌日食べようとしたら中の餅がカジられていました（写真2）。家人は誰も食べておらず、亀麿君が食べに来たのかもしれませんが。



写真1 槐の間



写真2 カじられた餅

古希を迎えて

延岡市 谷村病院 ^{さい}税 ^{しょ}所 ^{こういちろう}幸一郎

今年、私は古希を迎えます。

4年前に都城医療センターを退職し、現在延岡市の谷村病院に勤務しています。

仕事の内容は特に大きくは変わらず、現在もリウマチの診療を行っています。

変わったことといえば、定時に仕事が終わる、通勤方法がマイカーから電車になったことです。そして不規則な帰宅から定刻19時の帰宅になりました。

電車での往復は2時間半近くかかりますが、その時間が自由に使えるようになり、推理小説を読んだり、時には居眠りをしたりしています。

また定時に帰宅できるようになり、夕食後に妻とのウォーキングが日課になりました。出発のときに雨が降っていなければ毎日40分ほど歩いています。そして、日々のたわいない出来事をおしゃべりしています。

暗くなってからのウォーキングでは、空を見上げると、月の満ち欠けや星座の移り変わりが見られます。またその目を周囲に向けると昼間カラフルに見えたものがシルエットだけが見えるモノクロの世界へ変わっています。

そして歩いていると花の香りが季節を感じさせ、焼き魚や入浴剤のにおいなどが日々の生活を想像させる、このようないろいろな出来事に毎日出会います。今まであまり感じることもなかった感覚です。そしてこれが新鮮に感じられる自分に驚いています。

古希といえば70歳、ひと昔まえまでは65歳以

上が高齢者でした。最近は「75歳以上を高齢者」と老年学会では提案しているくらい寿命も延び健康な方が多くなっています。私も健康維持に努め、残された時間を、仕事や余暇に、有意義に過ごしていければと思っています。

新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、早々に外食や県を跨いだ旅行などが気楽にできるようになることを願っています。

ちょっと内緒のお話

宮崎市 ^{いち}こころとからだ診療所 ^{はら}市 ^{よし}原 ^{ひろ}美 宏

「ためしてガッテン」というTV番組を私は積極的には見ないようにしている。医院の外来でこの番組の話が出ると、私の決まり文句は、「嘘ではないと思うが、それでは本当かという、ちょっとねえ」ということになる。

先日、たまたまプラセボの話をしている番組が目に入ってきて、某志の輔師匠が仕切っているのを仰天してしまった。プラセボは、はるか昔から医療業界の内緒話になっている筈で、某公共放送であるように取り扱っていただくのは相当に困ってしまうと感じた。最初からじっくり見たわけではないし、勿論最後まで見る気にもなれなかったのだが、“長い間寝たきりだったお年寄りがある不思議な薬をもらったら、翌日から外を歩けるようになった”といったエピソード

ソードが、2, 3 紹介されていたようである。つまりその《不思議薬》が、プラセボというわけである。

私には「嘘とは言えない」と呟くしかできない。そんなことはあり得ないと言い切ることは少なくとも私にはできそうにない。私自身、万策尽きてそういう薬の使い方をしたこともないわけではないし。

ここまで書いてみて、どうやら私には対応できない、いわば底なし沼に入ってしまった気がしている。正面から議論をする話題ではないし、第一最後の「ガッテン」の部分を見ていないのでは話にならないわけでもあるし。どなたかしっかり起承転結を見届けておられれば、ご意見を伺いたいと思う。

折しもコロナ騒動の只中、オリンピック騒動もあり、自分の言葉、自分の意見、といった諸々をちょっとばかり考え直さなければと、この年齢になって迷うことしきりである。

コロナが終息したら

高鍋町 坂田病院 さか た もろ みち
坂 田 師 通

私の友人の姪にあたる中学生のお嬢さんは、元来エビに対するアレルギーがあり、幼児期には誤食によって重症の喘息症状や蕁麻疹を認めていたそうである。最近その友人が彼女と食事

をしたとき、レタス巻きのエビを何の躊躇もなく食べていたので、友人は大変驚き話を聞いてみたところ、3年くらい前よりダニ舌下免疫療法（SLIT）を受け始めてから少しずつエビが食べられるようになったとのことであった。

カニやエビのアレルギーは、なかなか自然寛解が得られないことはよく知られているが、最近SLITによって、このような例は経験されると聞く。エビの主要アレルゲンであるトロポミオシンとコナヒョウヒダニ・ヤケヒョウヒダニのマイナーアレルゲンであるDer p 10/Der f 10には、約80%の相動性があるからである。

私たち高鍋の医者は「ヤブ会」と称して、月に1回の飲み会を行っているが、コロナの影響で1年以上休会が続いている。「ヤブ会」とは蕁医者の集まりとばかり思っていたが、内田俊浩先生の御尊父忠俊先生が「竹林の七賢」から考えられた名称と聞いている。この「ヤブ会」のメンバーには、甲殻アレルギーのある某病院の院長先生と某内科医院の院長先生がおられる。お二人は、いつもエビ・カニが食べられないので、はたから見ると大変気の毒に思える。しかし、今度お会いする機会があったらぜひダニSLITを勧めてみたいと考えている。美味しいカニ・エビを肴にして、ヤブ会全員で美味しいお酒が飲める日が来ることが楽しみである。すべては、コロナが終息したらである。



学校医の役割

宮崎市 生目眼科クリニック はら だ かず みち
原 田 一 道

昨年は、45年間学校医として学校保健の普及と発展の向上に尽力したということで五七の桐紋入りの文科省大臣表彰、引き続き本年は瑞宝双光章をいただいた。いずれも県、市郡医師会の推薦によるもので感謝している。また叙勲に際しては多くの祝辞をいただき恐縮している。同時にメディアの広報力に脅威さえ感じた。日頃の怠惰を憂い脇を締めなければと思い学校医の役割を紐解くと、1) 学校保健安全計画の立案、2) 定期健康診断、健康相談、保健指導、3) 学校環境衛生の維持および改善、4) 感染症や食中毒の予防とあった。眼科領域の健診は、特に伝染病予防と視力測定の助言が主たるものとなっている。伝染病は感染性結膜炎の水際作戦が予防の主たるものとなるが、幸い最近流行性角結膜炎などのウイルス性のクラスターは報告されていない。余談ながら眼科分野ではウイルス性の伝染性疾患に遭遇する機会が多々あり、かねてよりマスク着用以外は手指消毒、清拭、拭き上げなど感染予防に努めてきたのでコロナ対策には動じなかったと思っている。

眼科の学校現場における最近の関心事は子どもの視力低下で歯止めがかかっていない。文科省の学校保健統計調査によると小学生の3人に1人が1.0未満の視力で、調査が始まって以来倍増していると報告されている。東京医科歯科大学の研究グループによるとスマートフォンなどの普及が一因と考えるとしデジタル機器による近視を防ぐポイントとし、1) 姿勢を正し、

画面と目を30センチ以上離す。2) 30分に一回は30秒以上遠くをみて目を休める。3) 直射日光を避け、木陰で自然光をあびる。4) 室内を適度な明るさにしている。この1～2年は巣ごもりも助長している。これは世界的傾向でそれにともない眼鏡、コンタクトレンズの装用者が増加する。特にコンタクトレンズの装用者は年5%の成長で世界の市場規模は128億ドルというから一大巨大産業と称されても過言ではないと感じている。コンタクトレンズに関しては最近では対面販売でなく量販店で購買する消費者も多く由々しきことであると痛感し再度高度管理医療機器クラスⅢであることを啓発したい。



喜寿の芸術展

延岡市 長沼医院 ^{ながぬま} 長 沼 ^{こうさぶろう} 弘三郎

通りをはさんで構えた20坪のアトリエに巣くってもう何年にもなる。室内はすでに日の目を見ない描き溜めたキャンバスで一杯だ。と、宮崎大宮高校第14回生の芸術展開催の話が飛びこんできた。さあこの機会に溜まった作品をギャラリーセールか蔵^{くら}浚えにしようか。

今を去る4年前に高校の同期の者たちが蒼天芸術展と銘打って約150点の作品を持ち寄り県美術館に並べた。今回は第Ⅱ回目だが作品募集は「我ら78歳。現在進行形！」とのキャッチコピーで勇ましい。

おかげで31名が応募。油彩画83点、水彩画44点を含め絵手紙、エッセイ、鎌倉彫^{しゅう}、刺繍写真、書、ステンドグラス、彫刻、ちぎり絵、陶器、紙粘土人形、ハワイアンキルト、パステル画、パッチワーク、木炭画、木版画、流木、洋裁などさまざまなジャンルから約290点の申し込みがなされた。コロナ禍の最中、5月31日までの県独自の緊急事態宣言の解除を待つ6月9日から5日間の開催に持ち込めたのは、喜寿同窓会は中止になっても「芸術展だけは開催しよう」との熱意があったればこそだ。

展示はにぎやかで2～3段掛けで壁面がいっぱい彩られた。会期中700名弱の入館者があり、“生まじめで心に残る作品が多くて目が奪われた”との高評価をいただいた。作者のコメントでは水彩画「卒業前の生徒4人」「1,000人以上は描いた。この生徒たちも45歳になっているはず。会ってもまったく分からないだろう”。

書「人間万事塞翁馬」「私の人生そのものでした。諦めるのはまだ早い」等に目が行き同感させられた。かついろいろな作品に出会い、金子みすゞの詩の一フレーズ“鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがってみんないい”を思い起こし、心がなごむ。

惜しいことだが、会期が終われば出展作の多くはお蔵入り。思い出だけが残る「こんげなこつちえんつまらん。どんげもならんし、一銭にもならんこっちゃが」とあいなる。そうあっても早速新しいキャンバスに向かい、手遊びに^{すさ}絵手紙、ボタニカルアート等「手元絵」に挑戦している自分がある。

そうこうしているうちに第Ⅲ回目の蒼天芸術展が廻ってくるかもしれない。

宮崎大宮高校 第14回生
蒼天 芸術展Ⅱ 2021.06.21

我ら78歳。現在進行形！ 入場無料



■とき 2021.6.9(水)～6.13(日)
AM10:00 ▶ PM6:00 (最終日はPM4:00まで)

■ところ 宮崎県立美術館2F 県民ギャラリーⅠ

連絡先
蒼天芸術展 代表 田中長敏
TEL:0985-26-1281

宮崎市文化芸術振興基金
Miyazaki City Fund for the Promotion of Culture and Arts

この催しは、宮崎市の地域文化活動振興助成事業の助成事業です。

老化防止のために始めたこと

宮崎市 宮崎県健康づくり協会 あさ だ けい こ
浅 田 敬 子

還暦をとうに過ぎて体力の衰えを痛切に感じるこのころであるが、老化防止のためにここ数年で始めたことがいくつかある。

一つは単純なことではあるが、意識して歩くこと。戸建ての家に住んでいた数年前は近くのスーパーマーケットに行くのも車を使っていたが、マンションに引っ越してから車を一台処分し、市の中心部に行くのに15～20分の距離は、真夏と台風以外は極力歩く。宮崎駅や日向市駅の長い階段を、エスカレーターを使わず歩く。エスカレーターを使ってスイスイと登っていくスポーツ少年たちを横目に、ひたすら階段を登る。時間としてはそう長くはないが、日々の生活の中でこうして歩くことを意識することで、以前より少しは脚力が付いてきた。何より昔に比べて汗をかきにくくなった。以前はちょっと動いただけでも大汗をかいてバテバテになっていたのだが、これも少しは体力が付いた証拠だろう。

二つ目は、休日のお菓子作り。お菓子作りは事前の材料の下準備、正しい手順、スピードが重要であり、どれを間違っても美味しいものがない。頭をフル回転させないと失敗するので、脳の老化防止には最適だ。

一番難しいと思うのはカステラ。市販の木枠を買い揃え、クラフト紙を型の大きさに合わせてカットし、材料を合わせて流して焼く。強力粉にするか薄力粉にするか。砂糖のほか水飴を入れる？ 蜂蜜にする？ あるいは味醂？ 生地

混ぜの程度は？ 泡切りの回数とタイミングは？ 焼き時間は？ 何度も試行錯誤を繰り返すが100%満足できるものがない。一度やってもしばらく間があると、すぐに手順を忘れて失敗する。だからこそ面白い。カステラ屋さんは、どうしてあんなにふっくらと同じ高さに膨らみ表面にひび割れひとつないカステラが焼けるのだろう。プロと言ってしまえばそれまでだが、きっと何百回、何千回と失敗を繰り返した結果なのだろう。ここ6か月ほど作っていないが、また頑張ってみようと思う。

手話を学ぶ

宮崎市 いわさき小児科 いわ さき なお や
岩 崎 直 哉

一昨年の春から手話を学んでいます。

初年度の「手話奉仕員養成講座」から始め、「手話通訳者養成講座通訳Ⅰ」へと進み、いまは「通訳Ⅱ」を受講しています。通訳者講座は手話だけでなく話の内容の要約の仕方などを教えてくれます。

週に1回、夜2時間の講義は集中力を要するものでとても疲れます。また自分の学習能力の衰退と嫌というほど向き合います。辛い経験です。いまの講座からは毎回宿題も出されるようになり、次の講座までの1週間こころの安まる暇ありません。「手話奉仕員養成講座」は40

人ほど受講者もいましたが、それも10数人となり、もはや修行の域です。

随分前ですが、北川悦吏子氏脚本のテレビドラマ「愛していると言ってくれ」を覚えていらっしゃる方も多いと思います。ドリカムの主題歌もよかったです。自分と豊川悦司の共通点は性別くらいしかありませんが、このドラマは手話を意識するきっかけでした。手話ドラマというとすぐ前に「星の金貨」もありましたが、こっちは触れないでおきます。

それ以来、何度か手話の学習書を購入しては覚えようとしたのですが、長続きしませんでした。講習を受けるようになって長続きしない理由がわかりました。手話は動作が重要な言語なのです。当たり前ですが、手話を2次元の静止画と活字だけで学ぶのはとても難しいです。最近はネット上の動画などで学ぶ環境もあるようです。いい時代です。

講座に通っていると学びの成果を知りたくなるものです。今年の2月に第15回全国手話検定試験を受けました。結果は3級と2級の合格をいただきました。試験の直前に知識を詰め込み、面接試験のテーマをいくつも想定し準備していたので実力をかなり上回る判定だと思いますが、それでも嬉しいものです。これからの励みになります。

基本的な手話を学ぶ方法として「手話奉仕員養成講座」はとてもよいと思います。受講生の背景もさまざまで、高校生もいました。興味を持たれた方はぜひ受講してはいかがでしょうか。

私の歩いた人生「イロハ」

延岡市 ほうしやま子どもクリニック 宝珠山 ひろし 弘

つれづれなるまゝについ筆をとった。

人生の先輩や故人の教訓を念頭において歩いたが、実行したことは少ない。少し実行したことを列記してみた。

- ① 相手の身になって考えた。
- ② 常に8分の美学をもって物を考えた。
- ③ 孝行したいときは親はなし。
- ④ 常に心にやさしさをもって対処したつもり。
- ⑤ 名もなく貧しく美しく。
- ⑥ 注意と用心を心がけた。
- ⑦ 人徳を保つ。
- ⑧ 人間は不思議な存在だ。
- ⑨ 人生は夢まぼろしの如し。
- ⑩ 人生歌がある。
- ⑪ 人生の哲学とは何か。
- ⑫ 因果は巡る。
- ⑬ 教育勅語を実行する。
- ⑭ 体は鍛え心を磨く。

以上を実行することに意義があると思う。

COVID-19の短歌

宮崎市 長嶺内科クリニック なが長 みね嶺 もと元 ひさ久

私が令和2年3月から3年5月までに詠んだCOVID-19の短歌を記します。お読みいただければ幸甚に存じます。歌の配列は日付順、表記は旧仮名使いです。掲載された書誌は、「心の花」「現代短歌新聞」「梁」です。歌の一部を改変しています。

近頃は「コロナ」と聞けば身構ふる同じ名前の愛車持ちしに
 朝な朝なまづ数へをりわが医院の消毒薬とマスクの在庫を
 いづれ来むきつと襲はむひさかたの光冠コロナがわれをわがクリニックを
 大丈夫なるに逝きたり万人を「だいぢやうぶだあ」と笑はせし人
 この頃はテレビの画面に棒グラフ折れ線グラフを視ること多し
 駐車場にバ拉克建てつ熱発と咳やまぬ人の診療のため
 けふもまたあまたの人をわれは診るうつらぬやうにうつさぬやうに
 現し世に勝負し得ざる身となりぬ勝武士といふ二十八歳
 けふもまた消毒液にわが手指を濡らしてをりぬ数十回は
 一杯のビールをのめば酔ふわれの皮膚は動じず酒精の液に
 手水舎に柄杓置かれず神殿の鈴緒は上に括られてあり
 入口に閑所設けたる診療所にそろりと入りぬ団子虫ひとつ
 日向路を聖火ランナー走りゆく第四波大きくうねれる中を
 ちはやぶる神田川俊郎逝きにけり八十一歳にECMOつけられず
 枕辺に立ちたる媼われに告ぐ「コロナワクチン私はまだか」
 ウイルスに屈してならじ強き意志持つべきわれらホモサピエンス

お知らせ

カット、イラストの募集

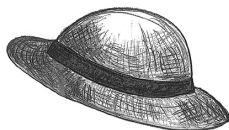
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
 genko@miyazaki.med.or.jp



私が推薦する本

「寅市つれづれ日記」「じいちゃんありがとう」

推薦者：宮崎市 青木皮膚科 ^{あお}青 ^き木 ^{よう}洋 ^こ子

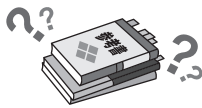
著者甲斐さんの祖父で麦わら帽子職人だった井上寅市さんは、2011年4月7日に93歳で亡くなりました。日向市在住の甲斐さんは、2006年からスイミングインストラクターの仕事の合間に認知症を発症した祖父が住む宮崎市へ車で通い、通院や食事、トイレ介助をされました。寅市さんが亡くなられた後に、「もっと祖父のお世話がしたかったなあ～」と思い、日向市美々津町の三股病院に看護助手として勤務し、2019年には介護福祉士の免許を取得されました。

楽しかった祖父とのやり取りや感謝の気持ち、介護を通じて学んだことなどを忘れないようにと、約2か月かけ2冊の絵日記にまとめ上げられました。

その絵日記を見せていただき、ぜひ書籍化していただきたいと思います。このたびやっと自費出版されました。

本書の文章、文字、絵はいずれも心温まるもので、待合室において、多くの方に読んでいただきたいと思います。

著 者 甲斐真由美
発行所 「TigerOneProject」
〒883-0021
宮崎県日向市財光寺2104-7
Tel 0982-54-8521
お問合せ E-mail tigerone0417@gmail.com
定 価 本体 各 1,364円＋税



あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は40ページ)

1. 11歳の男児。運動後の呼吸困難を主訴に救急車で搬入された。給食後、午後1時間目の体育で持久走中に症状が出現してきた。給食の主なメニューは、パン、エビグラタン、オニオンサラダ、キウイフルーツだった。気管支喘息の既往はあるが、現在常用薬はなく、最近1年間、発作はなかったという。その他、既往歴に特記すべきことはない。意識は清明。心拍数90/分。血圧96/62 mmHg。呼吸数24/分。胸部聴診上、喘鳴を聴取する。腹部と下肢に紅斑と膨疹を認める。
直ちに行うべき対応として適切なのはどれか。
a 気道確保
b ステロイド吸入
c アドレナリン筋注
d 抗ヒスタミン薬内服
e 重炭酸ナトリウム静注
2. 高齢者の嚥下障害の原因とならないのはどれか。
a 嗅覚低下
b 歯牙欠損
c 舌運動低下
d 唾液分泌低下
e 咽頭収縮力低下
3. 睡眠時無呼吸症候群の合併を疑わせるものとして誤っているのはどれか。
a 気胸の既往
b 昼間の眠気
c 頻回の夜間覚醒
d 治療反応性が不良な高血圧
e 夜間発症の心血管イベントの既往
4. 慢性咳嗽をきたすのはどれか。 2つ選べ。
a 後鼻漏
b 食道憩室
c 逆流性食道炎
d 食道カンジダ症
e 機能性ディスペプシア
5. 良性発作性頭位めまい症について正しいのはどれか。
a 難聴を伴う。
b 小児に好発する。
c 一過性の意識消失を伴う。
d 頭位変換時に眼振を示す。
e 浮遊耳石は半規管由来である。
6. 74歳の男性。2年前に下咽頭後壁の表在癌に対して経口的粘膜下切除術を受け、その後局所再発を認めていない。喫煙歴は72歳まで15本/日を45年間。以前は飲酒ですぐ顔が赤くなったが、徐々に飲酒量が増え、前回手術までは焼酎500mL/日を飲酒していた。
この患者で経過中に重複癌を生じる可能性が最も高い部位はどれか。
a 口腔
b 喉頭
c 食道
d 胃
e 十二指腸
7. 発声能力を定量的に表す最長発声持続時間に影響しないのはどれか。
a 性別
b 年齢
c 呼吸機能
d 鼻閉の程度
e 声門閉鎖の程度
8. ミトコンドリア遺伝病について正しいのはどれか。
a 女性患者が多い。
b 両親が保因者である。
c 次子の罹患率を予測できる。
d 子は親より重症化する傾向がある。
e ミトコンドリア遺伝子の点変異は母から子に伝達する。
9. 急性咳嗽の原因として頻度が高いのはどれか。
a COPD
b 咳嗽
c 胃食道逆流症
d 副鼻腔気管支症候群
e マイコプラズマ肺炎
10. 保健所の業務で正しいのはどれか。 2つ選べ。
a 医療機関に立入検査を行う。
b 選任している産業医の変更の届出を受ける。
c 検疫感染症が流行している地域からの船舶を隔離する。
d 業務中に結核に感染した労働者の労働災害を認定する。
e カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出を受ける。

エコー・リレー

(552回)

(南から北へ北から南へ)

一竿風月

宮崎市長 ^{なが} ^{さわ} ^{しん} ^じ
宮崎ホームケアクリニック 長 澤 伸 二

この原稿が掲載されるころには、コロナ第5波の真っ只中かもしれない。日本中の至るところで経済活動が中止され、私たちもせっかくの休日があっても目に見えないウイルスにより行動を制限され、マスクや消毒液をお供に近場で過ごす

しかない今日のごろだ。

しかし、閉ざされがちな中でも休日くらい、少しでも自由な環境を得られればと思い、「家に自転車はすでに3台ある」と言う嫁を説得して、試乗して、街の大きな交差点にあるショップで、自転車を購入した（今度は電動チャリではない）。自転車の売れ行きは好調のようで、1か月以上の納車待ちは当たり前ようだ。

運動不足の解消と趣味実益を兼ねて週末は車に積んで、気に入ったところでサイクリングを楽しんでいる。海辺の木陰や雄大な山々の景色を眺めながらのサイクリングは格別であり、マスクから解放される貴重なひとときである。坂があればゆっくり上り、気に入ったところで止めてコーヒーを味わい、なるべく人家から遠ざかって走る。おかげで、いま宮崎の名所を少しずつ再認識している。宮崎城跡にも近々行ってみたいと思っている。幸い飲食店にはあまり立ち寄れないので、この夏体重が－5kgくらい達成できれば、一石二鳥というか、社会的距離（ソーシャル・ディスタンス）様様といったところか。

まだしばらくは大好きな温泉にも行けずに、最も行きたい阿蘇の山なみを1年以上も拝むこともできず、赤ウシや大分のフグにもたどりつけず、ずいぶんと忍耐強くなったものだ。毎年、神戸から九州温泉巡りをしている友人にも会えず、東京の友人も転勤でマレーシアへ。次にみんなで会える日はいったいいつだろう。再会まではボチボチと県内チャリ旅を続けて、ニシタチで落とさなくなったお金で、壮大な旅行の計画でも夢見ながら走り続けよう。さあ、今日も早朝から出発だ。まだ見ぬ宮崎の風景を探して…。

〔次回は、高鍋町の加来 志保先生をお願いします〕

私を悩ませるもの

都城市西浦病院 ^{にし} ^{うら} ^{りょう} ^{すけ}
西 浦 亮 介

現在、私の体で悩ましいことの一つは『痛風』です。贅沢なものを食べているから、酒の飲みすぎ、不摂生などと自身の生活に対してお叱りを受ける点は私も否定はしません。

しかし、本常に痛い。一般には足の母趾MP関節で

すが、私は膝関節と足関節に出現して激しい腫脹と疼痛で歩けなくなります。たしかにビールは好きです。お酒大好きです。しかし痛風発作を生じるきっかけになるのはマラソンなどの長距離走や登山の数日後に違和感から始まり、激しい痛みがやってきます。そのあと『バーン!』と腫れます。ほんとにめっちゃくちゃ腫れます（涙）。痛みは風が吹いても痛いとかいいますが、布団の重さでも我慢できない痛みが続きます。

当然ながら尿酸のお薬は飲んでるんです。尿酸合成阻害剤ではなかなか下がらず、尿酸排泄促進剤を使用しています。痛風発作にNSAIDsを使用しますが、コルヒチンが古典的に使用されることをご存知の先生も多いと思いますが、実際に処方されたことはある方は少ないかもしれません。私自身、『コルヒチンなんか効くもんか?』と思っていましたが、薬をも継る気持ちで内服すると意外と効果があるもんです。しかし、私には消化器症状が出て、痛みをとるか吐き気を我慢かで悩まされます。コルヒチンはイヌサフランの種子や球根に含まれるアルカロイドです。生物の授業で種なしスイカを作るときに使用すると学習した記憶があります。細胞分裂を阻害したり好中球の活動を阻害し抗炎症作用を示すとされ、痛風発作以外の鎮痛・消炎作用はほとんど認められない（Wikipediaより）といった面白い薬です。

うんちくはさておき、患者さんの症状に共有してあげられると優しくなるもんだなあとしみじみ思います。痛風の患者さんには『食べ過ぎやからよ!!』『酒の飲みすぎや!』とお叱りになられる場面もあろうかと思いますが、何卒、発作を起こしている患者さんには優しくしてあげてくださいませ（苦笑）。

〔次回は、宮崎市の中川 秀人先生をお願いします〕

メディアの目



死後もVIP待遇

共同通信 宮崎支局長
うえ の とし ひこ
上 野 敏 彦

「A級戦犯遺骨、太平洋に」―。6月7日付宮崎日日新聞の社会面を開いて、うなった。第二次大戦後の極東国際軍事裁判（東京裁判）で死刑判決を受けた東条英機元首相らA級戦犯の遺骨について、米軍将校が「太平洋上空から私がまいた」と記した文書が米国立公文書館で見つかったというのだ。

10年前まで宮崎支局で一緒に仕事をしていた同僚の特ダネだった。死後のことについてはコロナ禍にあって火葬場での故人との別れの光景とかいろいろと考えさせられる機会が多い時期である。

戦犯といって思い浮かんだのは3月28日に96歳で亡くなった元BC級戦犯・李鶴来さんの無念の思いだ。太平洋戦争中、日本の植民地支配下の韓国で軍属になり、映画『戦場にかける橋』で有名な泰緬鉄道建設のため、タイの捕虜収容所で働かされた。

上官の命令に忠実に従ったため捕虜虐待の罪に問われ、BC級戦犯として死刑判決を受けたが、減刑され巣鴨プリズンから出所し、タクシー会社を経営してきた。

「日本の侵略戦争で、なぜ朝鮮人の自分が戦犯として殺されるのか。国籍を理由に援護の対象から外されるのも不条理」として日本政府に

補償や謝罪を求めて訴訟を起こしたが、最高裁は司法判断を避けた。国会も重い腰を上げ動き出したが、東日本大震災や政治の混乱を理由に救済は先延ばしになってきた。

東京裁判では侵略戦争の共同謀議など「平和に対する罪」に問われた東条や広田弘毅元首相らA級戦犯7人とBC級戦犯約900人が刑場の露と消えた。処刑後の遺体の扱いは焼かれて火葬場に捨てられるのが一般的で、今回のA級戦犯の扱いは特例といえる。

戦争指導者たちの遺骨を遺族に返還した場合、墓が作られ将来神聖視されるのを防ぐため、遺灰は太平洋上にまき散らすことが連合国軍総司令部（GHQ）の方針だったという。

今回の報道についてA級戦犯の遺族は「海への散骨は自然に返すのと同じで、不当に扱われたとは思わない」と冷静に受け止めているというが、あの戦争でBC級戦犯に問われた兵士の遺族の感情はどうだったのだろうか。

李鶴来さんは家族に看取られ天上の人となったが、「われわれの問題を日本人の正義と道義心で解決してほしい」という訴えを忘れてはならない。戦後76年の夏、東京五輪、コロナでざわつくとはいえ、日本という国の在り方が根本から問われているのだから。

お知らせ

第22回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した医家芸術展が、いよいよ8月11日(水)より5日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は133点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月11日(水)～15日(日) 10時～18時(15日のみ15時まで)

**場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)**

部 門：写真、書道、絵画

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

写真部門

有川 奈津季(宮崎市)	木佐貫 冬星(宮崎市)	楠元 正輝(宮崎市)
酒井 桂子(都城市)	酒井 美絵子(都城市)	佐々木 究(宮崎市)
末岡 常昌(延岡市)	竹尾 康男(宮崎市)	田中 宏幸(宮崎市)
谷口 二郎(宮崎市)	藤浦 富子(日南市)	丸田 英夫(宮崎市)
丸田 眞美(宮崎市)	山路 健(都城市)	

書道部門

大迫 文子(宮崎市)	岡村 公子(延岡市)	山内 励(宮崎市)
弓削 三重子(宮崎市)	吉山 登志子(都城市)	

絵画部門

浅見 鳴子(宮崎市)	新木 るり(日南市)	安藤 宣(西都市)
石川 万佐子(宮崎市)	内田 攻(宮崎市)	大塚 早智(宮崎市)
大西 敦子(宮崎市)	木佐貫 朋音(宮崎市)	黒川 基樹(宮崎市)
酒井 和彦(都城市)	酒井 美絵子(都城市)	竹村 龍之助(宮崎市)
谷口 飛鳥(宮崎市)	谷口 二郎(宮崎市)	谷口 浩子(都城市)
長沼 弘三郎(延岡市)	野崎 藤子(宮崎市)	横山 知子(宮崎市)

(敬称略・各部門50音順・令和3年7月26日現在)

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和3年5月31日～令和3年6月27日（第22週～第25週）

■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
2 類：○結核10例（男性8例・女性2例）：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3 類：報告なし。

- 4 類：○E型肝炎1例（男性1例）：

宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、主な症状として黄疸、肝機能異常、尿の黄染がみられた。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で、ダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、下痢、血小板減少、白血球減少がみられた。

- つつが虫病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で、主な症状として頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。

- 日本紅斑熱2例：高鍋、日向保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で、1例でダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、発疹、肝機能異常等がみられた。

- レジオネラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として発熱、呼吸困難、肺炎、倦怠感がみられた。

- 5 類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で、血清群はB群とG群であった。主な症状としてショック、腎不全、DIC、軟部組織炎がみられた。

- 侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で、主な症状として頭痛、発熱がみられた。

- 梅毒8例（男性5例、女性3例）：延岡（4例）、宮崎市（3例）、都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と40歳代が各2例、10歳代、30歳代、50歳代及び60歳代が各1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が3例、早期顕症梅毒Ⅱ期が5例であった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹等がみられた。

- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状として意識障害、痙攣、項部硬直、呼吸器症状、胸部異常陰影、皮疹、紅斑、中枢神経系病変、真菌血症がみられた。

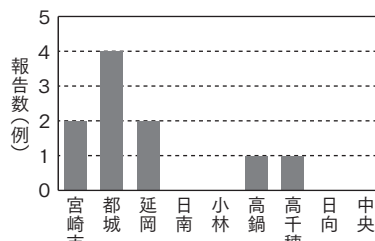


図1 結核 保健所別報告数（例）

表1 結核 病型別報告数（例）

肺結核	1
肺結核及びその他の結核（粟粒結核、結核性リンパ節炎、結核性胸膜炎（疑い））	3
その他の結核（結核性胸膜炎）	3
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
50歳代	4
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	3

■新型インフルエンザ等感染症

- 新型コロナウイルス感染症49例：保健所別、年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として発熱、咳、咽頭痛、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等がみられた。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,613人（定点あたり46.6）で、前月と同率、例年の55%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症であった。

RSウイルス感染症の報告数は275人（7.6）で前月の約0.7倍、例年の約9.4倍であった。日向（18.8）、小林（17.7）、延岡（9.5）保健所からの報告が多く、6ヵ月～3歳が全体の約8割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1

表3 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

疾患名	保健所	報告数	年 齢 群								
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	26例	2	3	4	8	3	3	1	2	
	都城	11例		2	2	2	4			1	
	小林	3例					1		1		1
	高鍋	3例		1	1			1			
	日向	6例			4	1			1		

感染性胃腸炎の報告数は880人(24.4)で前月の約1.1倍、例年の約0.9倍であった。中央(51.0)、小林(36.3)、都城(30.3)保健所からの報告が多く、1～4歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向(2021年6月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は57人(4.4)で、前月比112%と増加した。また、昨年6月(2.9)の150%であった。

《疾患別》

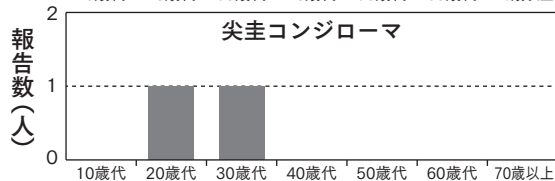
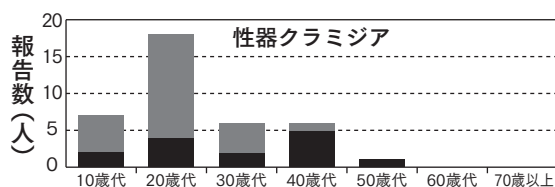
- 性器クラミジア感染症：報告数38人(2.9)で、前月の約1.7倍、昨年6月の1.9倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性14人・女性24人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.85)で、前月及び昨年6月の約0.8倍であった。(男性2人、女性9人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の0.5倍、昨年6月と同率であった。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の約0.5倍、昨年6月の2.0倍であった。(男性6人)

前月との比較

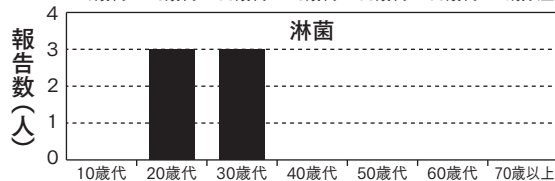
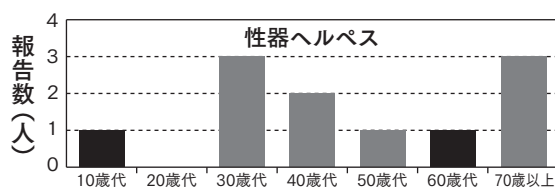
	2021年6月		2021年5月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	275	7.6	388	10.8	★
咽頭結膜熱	106	2.9	89	2.5	
※溶レン菌咽頭炎	159	4.4	145	4.0	
感染性胃腸炎	880	24.4	815	22.6	
水痘	25	0.7	21	0.6	
手足口病	20	0.6	8	0.2	
伝染性紅斑	2	0.1	5	0.1	
突発性発しん	101	2.8	102	2.8	
ヘルパンギーナ	25	0.7	22	0.6	
流行性耳下腺炎	7	0.2	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	13	2.2	12	2.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で、前月比192%と増加した。また、昨年6月(1.9)の192%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月及び昨年6月の約1.8倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年6月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより

西 諸 医 師 会

連日、新型コロナウイルスの感染者数の報道が行われています。今日の県内、そして西諸の感染者はどうだったのか？報道にて一喜一憂の日々です。オリンピック開催前の国の必死な強化対策にて第4波は全国的に落ち着きつつありますが、この投稿がされているころにはまた状況が変わっているかもしれません。現時点で国民の大半がオリンピック開催に否定的であり、果たして行われるのでしょうか？1年前には、会員の先生方から保健所主体の行政検査（PCR）はハードルが高すぎるとの意見が出ていたのを懐かしく思います。西諸では、抗原定量検査機器ルミパルスを導入した感染症指定医療機関である小林市立病院を中心に、今や会員の9割にあたる医療機関でコロナ検査が行える体制です。都会のようにオンライン診療が定着しているわけではありませんが、各々が感染対策を行いながら尽力されています。そんな中、コロナワクチンが3月中旬に医療従事者先行で開始されました。感染者の中で98%が軽症で2%が重症であると言われていますが、唯一の期待がワクチン接種でした。西諸では、かかりつけの医療機関での接種に加え、広域集団接種を実施し高齢者へのワクチン接種は終了しているのではないのでしょうか。2回目接種時には少なからず副反応を経験した方が多かった印象です。学会や講演会はWeb開催が主流となり、オンデマンドで好きなときに拝聴できるようになりましたが、その反面、近隣の先生方とのコミュニケーションが劇的に減少しました。また、残念ですが昭和34年に開校した西諸医師会が運営する小林准看護学校は、近年の入学生減少と、講師や実習施設確保困難を理由に本年4月の入学生12人をもって入学募集を停止しました。これまでに2,230人を地元の病院などに送り出してきました。西諸は医療資源の乏しい圏域ですが、4月から宮崎大学医学部に設置された災害医療・救急支援講座から小林市立病院救急科に常勤医師が赴任され大変喜ばしいことです。今後も小林市立病院と西諸医師会員との役割分担で日常診療に尽力したいと考えます。

（吉村 雄樹）

宮 崎 市 郡 医 師 会

6月26日、第159回宮崎市郡医師会定時総会、医師連盟大会、医師共済会総会が開催されました。医師連盟会計及び医師共済会会計歳入歳出決算が審議され承認されました。次に第159回定時総会では、来賓の河野雅行県医師会長よりご挨拶をいただき、報告（令和2年度本会事業報告・同決算、令和3年度本会事業計画・同予算）が行われました。法人法第127条に、「会計監査人設置法人の理事会で承認された適正な計算書類は、定時総会の報告で足り」と規定され、今回より「決算は総会における報告事項」となりました。現執行部は5期目の後半10年目を迎えました。今後も役員一同更に気を引き締めて医師会活動に取り組んでまいりたいと存じます。

（玉置 昇）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

現在、国は1,000人以上の事業所の新型コロナワクチン職場集団接種を行っている。都城市の調査では1,000人以上の事業所は1社、150人以上1,000人未満の事業所34社12,516人、50人以上150人未満は95社7,857人ぐらいと予想されている。今回、1,000人以下の事業所からの新型コロナ職域接種要望について、産業医として市から相談されたため、急遽、産業医部会を開催した。市の意向としては、企業への職域接種の要望調査はひとまず見送る。今後、企業単位での接種の相談を受けた企業にのみ説明を行い、理解された場合は産業医の先生に意向を確認してもらうよう話をする予定となった。

（隅 清克）

延岡市医師会

延岡市では幸い最近の新型コロナウイルス感染症の新たな患者発生はありませんが、延岡市医師会もまだまだ新型コロナワクチン関係で追われています。延岡市でのワクチン接種は佐藤会長を中心に各理事、各会員の協力の元、各医療機関と集団接種などで積極的に行われており、順調に進んでおりますが、キャンセル時の穴埋め問題を始め細かい問題が起こり、そのたびに市役所と綿密に連携をとっているところです。ワクチン接種についてはこれから、接種範囲が更に広がり、まだまだコロナに振り回されそうです。

(日高 利昭)

日向市東臼杵郡医師会

当圏域では4月に入って繁華街での新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生、直ちに感染急増圏域に指定されたことから6月12日(土)の当医師会定時総会開催が不安視されていました。幸いなことに開催予定日までに状況が改善され、会員出席の下、開催することができました。今年度は、高齢者向けワクチン接種が実施されているなか開催された総会でもあったことから、これまで以上に地域に寄り添った医師会活動について意見を交わすことができた総会でもありました。

(千代反田 晋)

児湯医師会

児湯地区でも、この原稿を書いている時点では医療従事者の新型コロナワクチン接種はほぼ終わり、65歳以上の高齢者の個別接種・集団接種が始まっています。高鍋地区の集団接種は、たかしんホールと海老原総合病院で開催されており、7月終了を目標に医師会員も総出でこれに当たっています。当院もサテライト型接種施設になっています。すべてが初めてのことで、患者さんの緊張はもちろんですが、接種を担当する看護師・スタッフも緊張感を持って対応しています。64歳以下はこれからなので、しばらくは予防接種に振り回されそうです。

また、医師会の行事として、新型コロナウイルスの影響で、今年も毎年秋に行われる各施設対抗のミニバレーボール大会が早々と中止となってしまいました。来年は行えるような状

況になってほしいものです。

(永友 研一)

西都市西児湯医師会

5月9日より県独自の「緊急事態宣言」が発令され、新規感染者数も減少し県独自の警報レベルが「4」から「3」に6月1日から引き下げられました。まだ第4波は完全に収まっていないため感染が再燃しないよう強い警戒が必要と思われます。コロナ禍の長期化で気が緩みがちになるため基本的な対策(マスク着用・手指消毒・3密回避)を医師会としても地域住民に指導しております。65歳以上の高齢者が西都市に約1万1,000人おられ4月中ごろより新型コロナワクチン接種が始まりました。また6月1日より集団接種が西都市民会館で開始されて7月中に終了するように医師会と行政とがしっかり計画を組んで進めております。

(鶴田 明士)

南那珂医師会

南那珂地区でも7月から高齢者に続き、64歳以下や基礎疾患を有する方たちの新型コロナワクチン接種が始まる予定でしたが、日南市では突然国からの供給量が不足することが伝えられ、予約一時停止となってしまいました。医師会、行政が一体となり準備を進めていただけに残念です。幸いなことに7月6日現在、南那珂地区では串間市が4月22日を、日南市が5月7日を最後に新型コロナ感染は発生していません。ワクチンが供給されるまでこのまま感染発生が抑えられることを願うばかりです。

(中津留 邦展)

西臼杵郡医師会

西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会の検討報告書が出されました。宮崎県北部に位置する西臼杵郡は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の3町で構成されています。その3町には、現在、それぞれ公立の病院が存在しています。検討報告書によると、長期的に西臼杵地域の医療提供体制を存続させるために、将来的には高千穂町国保病院に急性期機能を集約させる方向で機能再編を進めることを継続的に検討することになりました。今後も適正な医療サービスが提供されることを願うばかりです。

(植松 昌俊)

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 コミュニティ・メディカルセンター



こんどう かずひろ
近藤 千博 教授

国立大学法人宮崎大学は、2015年4月から、宮崎市立田野病院（以後田野病院と表記します）および併設の宮崎市介護老人保健施設「さざんか苑」の指定管理者として、その管理・運営をさせて

いただくこととなりました。これにともない、宮崎大学医学部附属病院コミュニティ・メディカルセンターが創設され、その仕事場が田野病院、さざんか苑となり現在に至っております。コミュニティ・メディカルセンターは、“地域医療の実践と教育”をその活動の柱としています。

田野病院は、田野町唯一の入院設備のある病院です。病床数は一般病床42床で、このうち地域包括ケア病床が36床です。地域医療構想における病床機能としては回復期病床として報告されています。大学病院をはじめとした近隣の高次機能病院や地域の診療所と綿密に連絡を取りながら、地域完結型医療の拠点として、1次、2次救急をはじめとしてさまざまな診療を行っています。疾病予防（健診や最近のコロナワクチン集団接種も含む）、在宅医療、介護、看取りも含めたまさに地域医療のすべてを実践しています。そしてこれを宮崎大学医学部の医学生全員（毎年110名前後）にクリニカルクラークシップIとして2週間研修してもらっています。その他卒後臨床研修医、看護学生なども受け入れています。

現在医師は、常勤医として内科2名、外科1名、整形外科1名、リハビリテーション科1名が在籍し、これに加え非常勤医の先生方にも週

1～5回外来を中心に診療にあたってもらっています。地域医療・総合診療医学講座の吉村教授にも外来や学生教育を中心に勤務していただいております。それぞれ自分の専門分野だけでなく幅広く診療していただくようにしています。このため、お互いの専門的知識や勉強したことを他の医師にも説明しあう勉強会を週1回行っています。これには学生や研修医にも参加してもらっています。

地域医療はその領域がとてつもなく広く、自分の専門分野だけしか診療しないということでは成り立たないことが多いと考えます。多数の医師がいる大病院では、それぞれの医師が専門医療のみを行うことですので領域の診療ができますが、地域医療の多くを担う中小病院ではそうはいきません。そうした病院では医師数が限られていますが、一方で患者さんにとっては近くの病院で何でも診て欲しいというニーズがあります。その結果、一人の医師が多くの領域の医療を行う必要性が生じ、総合診療医として働くことが要請されます。その病院だけではすべての患者の治療を全うすることはできず、必要あれば周辺の治療のできる病院へ患者を搬送することにも必要になります。どの状態で、どのタイミングでどこに搬送するかスキルも重要です。

医師としての人生の中で、大学病院のような大病院で専門医療に携わった後に、田野病院のような中小病院や診療所での地域医療の世界に入る人も多いと思います。このときに考えの切り替えや新たな勉強が必要となります。また、医学のそれぞれの分野は日進月歩でどんどん新しい知見が発見され、これについてゆくのも大変です。地域医療の中で医師として診療レベルを上げ、これを維持してゆくのはかなり力が必要です。こうしたことをスタッフ皆で勉強し実践し奮闘する姿を、若い医療者に見ていただければと思います。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(泌尿器科医会)

みのだ くにひろ
蓑田 国広 会長

当医会の現況についてご報告申し上げます。前回の令和元年9月日州医事第841号について、約2年ぶりの掲載です。

当会の会員数は2年前がA会員32名、B会員51名、自宅会員2名の計85名でしたが、現在は新規開業を若干認めるも、閉院もありま

してA会員25名、B会員52名、自宅会員4名、その他1名の計82名と若干減少といった状態です。

そしてこの2年間に永年当会会長を務められた王丸鴻一先生が本年2月に、6月には郡山和夫先生がご病気で急逝されました。

また当会の役員構成は副会長が永友和之、池井義彦の2名、幹事として村上憲彦、南口尚紀、福田聡一郎、竹原俊幸、分田裕順、黒岩顕太郎、上村敏雄（宮崎大学）、監事に棚田敏文、顧問に中山健の各先生にお願いしています。

さて当会の活動としましては、例会を主に奇数月と忘年会を兼ねて12月に開催しています。一部Web開催もありましたが、何とか3密にならないよう注意しながら、従来の会場開催（当然講演のみ）にて行いました。

そしてその講演内容は毎年5月には腎移植関連講演になっていますが、その他令和元年9月「進行腎癌治療のパラダイムシフト」、同年11月「腎癌・前立腺癌ガイドライン」、同年12月「日本泌尿器科学会からの報告～NCD運営委員会」など、令和2年1月「ワンランク上の泌尿器科～がんの早期発見から排尿障害の治療まで」、同年5月「泌尿器がんに対する薬物療法アップデート」、同年10月「前立腺癌標準治療を考える～CSPCとリンパ節郭清」、同年11月「がん治療における薬剤性肺障害の実例」、同年12月「転移性前立腺がんに対する局所放射線治療の意義」、令和3年5月「腎移植の普及・啓発のために～大阪大学の取り組み」など多岐に渡っておりました。

またその他令和2年11月には宮崎県医師会河

野会長を中心に第120回九州医師会総会・医学会が開催されましたが、今回は河野会長のご厚意により第10分科会泌尿器科分科会を現地会場にて開催させていただきました。

そしてその内容は「泌尿器科診療における医療経済を考える」と「腹腔鏡技術認定の歴史と実際」と題しまして、普段の学会・講演会では聴くことのできない貴重な内容でした。

更に本年11月3日から3日間、賀本宮崎大学泌尿器科教授が会長で、第73回西日本泌尿器科学会総会が開催されます。タイトルは「そもそもとまとうを考える」と題しまして、多数の泌尿器科医が集う予定です。

そして学術活動については平成23年から宮崎大学医学部泌尿器科教室と共同で行っています宮崎県泌尿器科医療連携MiU-NET（Miyazaki Urological Network）も順調に進行していき、現在の登録者数は前立腺癌1,183名、尿路上皮癌706名、腎癌199名です。

また平成26年開始の「宮崎県における前立腺肥大症のコホート研究」は潤和会記念病院泌尿器科部長 月野先生がその研究の一部を京都大学泌尿器科発行の泌尿器科紀要2020年発行第66巻12号に投稿されています。

その他最後に宮崎市前立腺癌検診について一言申し上げます。ちなみに宮崎市前立腺癌検診は10年前から受診率が20%前後で推移していましたが、この数年は10%前後まで下降しています。そして、2019年の受診率もやはり10.8%（11,618人/110,656人）と少ない数字でした。また要精検率は5.3%（612名/11,618名）生検率は44.1%（270名/612名）その結果、癌疑い102名、癌確定25名で癌発見率は0.22%（25名/11,618名、前回は約0.3～0.7%）陽性反応適中率4.08%（癌確定25名/癌疑い要生検者612名、前回は約4～9%）でした。

最後になりましたが、当泌尿器科医会は以上の如き活動を通じて少しでも地域医療の発展に寄与できればと思います。各先生方のご指導ご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

第174回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和3年6月19日(出)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

松本議長が代議員の定数および出席代議員の確認を行い、定款30条の規定に基づき定例代議員会の成立を宣言した。

続いて定款31条第2項の規定に基づく議事録署名人に、定款第31条第2項の規定に基づく議事録署名人として、18番栗林忠信代議員、28番三宅和昭代議員を指名した。



2 河野県医師会長挨拶

（要旨）現在、宮崎県では小康状態を保っているが、全国ではコロナ感染症が蔓延している。感染力が強く重症化しやすい変異株が主流を占めているようである。大都市では人流は相変わらず盛んで、患者数も予測したほどには落ち着いてはいない。今後、オリンピック等で更に人流が増えて大都市との往来が盛んになると、県内でもたちまち感染者が増加する恐れがある。現在、先生方のご協力によりワクチン接種が進められており、宮崎県では高齢者の接種終了は7月末で目途が立ったようである。今後は一般県民の接種が始まるが、県民の大部分が終了すると収まってくるのではないかと期待される。

そのような情勢の中で、代議員会は今回も用心のために、このような形での開催となった。日医では昨年より日医代議員会は全国からの集合ができないので、Web開催となっている。そのため、理事の選定等の重要事項の決定ができない状態が続いている。そこで、先日の日医理事会で「緊急時には集会せずとも重要事項の決定ができるような定款の見直しをお願いしたい」と、私から意見を述べた。同様に、わが県でも緊急時に備えて定款の見直しを検討する必要があるかもしれない。後日、先生方にご検討をお願いしたいと考えている。

さて、昨年から本年にかけて、宮崎県が九州医師会医学会の担当県であり、事前の事業計画によりさまざまなイベントを企画したが、残念ながら、それらのうちいくつかを中止か、もしくは形態を変えての開催を余儀なくされた。しかしながら予定した主な行事は変則ながらも何とか遂行することができた。これもひとえに先生方のご協力によるものと感謝する。

この後、県医師会事業報告並びに決算についてのご協議をお願いするが、こちらもコロナにより、事業計画や実施にさまざまな影響を受けて、例年どおりにはできずに、可能な範囲で変更を余儀なくされたものもある。ご理解をお願いしたい。

しかし、県医師会の事業はいずれも疎かにはできないものばかりである。コロナの影響はまだまだ続くものと思われるが、さまざまな工夫を凝らしながらできるだけ事業計画に則り執行してまいり所存である。

コロナ感染症の情勢は予断を許さないが、

今後も先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

3 報 告

1) 令和2年度宮崎県医師会事業報告について

山村副会長から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

(要旨) 令和2年度の事業報告については、定款第62条の規定に基づき6月8日の理事会で承認を受けた。同じく定款第62条の規定に基づき本代議員会において報告する。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の問題に対し、悪戦苦闘しながら精いっぱい対応した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、集合しての会議や研修会が開催できなくなる中、ZoomなどのWebを使った会議が世界的に普及し、本会においても、いち早く取り入れて、多くの会議、研修会をWeb形式で対応した。

また、昨年7月から九州医師会連合会の担当県となり、九州医師会総会・医学会、その他多くの関連会議について円滑な開催に務めた。Web会議中心となり、九州各県の皆様に宮崎に来県していただけなかったのが、大きな心残りであるが、担当県としての責務はしっかり務められたと考えている。

2) 令和3年度宮崎県医師会事業計画について

山村副会長から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

(要旨) 令和3年度事業計画については、定款第61条の規定に基づき6月8日の理事会で承認を受けた。同じく定款第61条の規定に基づき本代議員会において報告する。

県医師会の事業は公益法人として継続的に行うこととなっているので、事業計画の項目は、基本的には大きく変わることなく、継続が基本となっている。

その中で、本年度、事業計画の重点項目として7項目挙げているが、「新型コロナ

ウイルス感染症への対応」を一番目とした。

また、具体的事項の中でも、新型コロナウイルス感染症対応として、診療報酬に関することや、災害医療体制に関することを追加した。

今年度も、皆様のご指導とご協力をお願いして、簡単ではあるが、説明に代えさせていただく。

3) 令和3年度宮崎県医師会収支予算について

吉田常任理事から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

(要旨) 令和3年度予算は、定款第61条に基づき3月9日に開催された第4回理事会において承認を受けた。同じく定款第61条に基づき本代議員会において報告する。

報告資料3の1ページの収支予算書(正味)をご覧ください。

經常収益は、網掛けの部分为主要増減要因とし、前年度予算比334万円減の4億2,050万円を見込んでいる。同じく經常費用も網掛けの部分为主要増減要因とし、前年度予算比181万円減の4億2,477万円で、網掛けの下から3つ目、經常収益と經常費用の差額、当期經常増減額(単年度収支)は427万円の赤字となる見込みである。法人税、住民税および事業税は、例年どおり10万円を計上し、一番下の正味財産期末残高は446万円の減少となる。

次に、2ページの収支予算書(内訳表)をご覧ください。収支相償と公益目的事業比率を確認する。まず収支相償であるが、中段より下の網掛けの部分が、当期經常増減額である。一番左の公益事業が7,200万円の赤字となっているので、条件を満たしている。続いて、公益目的事業比率は一番下の欄外に表示している。公益目的事業費用計を經常費用総合計で割ると71.7%で、50%以上という条件をクリアしている。

続いて、3ページの収支予算書(収支)

である。中段より下の網掛けの部分、会館補修費積立資産取崩収入および減価償却積立資産取崩収入は、令和3年度において取り崩しの予定がないので0円としている。次の、特定資産取得支出は、それぞれの積立計画に基づき、決められた額を積み立てている。一番下の次期繰越収支差額は、単年度で641万円の赤字を見込んでいる。

4ページの「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」をご覧いただきたい。令和3年度において、収支に大きな影響を及ぼす借入れや重要な設備投資は予定していない。

以上、ご報告する。

4 協 議

議案第1号 令和2年度 宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事から、定款62条に基づき、6月8日の理事会で承認を受けた収支決算の説明を行った。その後、監事を代表して小牧文雄監事から「令和3年5月28日、中村周治監事、宮田純一監事とともに監査を実施し、出納正確で関係法令、定款などに従い違反なども認められず、関係書類等も整備され適正妥当と認めた」旨監査報告が行われ、採決の結果、議案第1号は賛成全員で原案どおり可決された。

（要旨）令和2年度は、一年を通して、新型コロナの感染状況を考慮しながらの事業運営となり、公益事業の実施がかなり限定された。一方、収益事業の集金事務や事務室賃貸などは、例年並みの収益となった。また、1,635万円の寄付金収入があった。内訳は、公益目的事業全般に3件600万円、新型コロナ対策に3件1,035万円となる。最後に、会館音響設備の経年劣化にともなう更新と、急速に普及したWeb会議の設備環境の充実を図るため、資産取得資金を積み立てることとした。詳しくは後ほ

ど説明する。

決算総額については、一般正味財産の税引後増減額は3,891万7,773円の増である。指定正味財産の当期増減額は140万6,068円の増で、当期正味財産増減額は、4,032万3,841円の増で、前年度決算比で約4倍となった。

公益認定基準に定められた、財務三基準について、収支相償と公益目的事業比率は基準を満たしている。遊休財産は、今年度の公益目的事業費用2億3,854万2,345円に対し、3億2,282万5,003円と、8,400万円ほどの超過となった。令和2年度決算における遊休財産の超過は、枠内に記載のと通りの対応となるが、将来に向けた解消方法については、超過額が大きいことなどから、慎重な協議が必要と考えている。

最後に冒頭で説明した資産取得資金について、積立総額は1,620万円で、内訳は会館音響設備更新およびプロジェクター購入、理事室用パソコン入替、サーバー更新費用である。令和2年度・3年度の2年で半額ずつ積み立て、令和3年度に全額取り崩して取得する。

議案第2号 令和4年度宮崎県医師会 会費賦課徴収に関する件

定款21条に基づき、吉田常任理事から、事前に配布している議案資料を基に、会費賦課徴収規程等のとおり、令和4年度も令和3年度と同様の会費を徴収したいと説明が行われ、採決の結果、議案第2号は賛成全員で原案どおり承認可決された。

5 議長閉会宣言

最後に河野会長から謝辞があり、松本議長が閉会を宣言し、第174回定例代議員会を閉会した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 千代反田晋
 2 番 今給黎 承
 3 番 永友 和之
 4 番 松本 英裕
 5 番 中村 彰伸
 7 番 内村 大介
 8 番 井尻 裕司※
 9 番 植松 昌俊
 10番 鮫島 浩
 12番 中村 都英
 13番 川名 隆司
 14番 市来 能成
 15番 牛谷 義秀
 16番 尾田 朋樹
 17番 金丸 禮三
 18番 栗林 忠信
 19番 神尊 敏彦
 20番 高村 一志
 21番 田中 俊正
 22番 楠元 直※
 23番 中山 健
 24番 成田 博実
 25番 弘野 修一※
 26番 原田 雄一
 27番 増田 好治

28番 三宅 和昭
 29番 田口 利文
 30番 檜原進一郎
 31番 長倉 穂積
 32番 伊達 晴彦
 33番 久保田秀紀
 34番 佐藤 信博
 35番 榎本 雄介※
 36番 牧野 剛緒

出席34名

※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
 副 会 長 濱田 政雄
 ” 山村 善教
 常任理事 吉田 建世
 ” 小牧 斎
 ” 荒木 早苗
 ” 金丸 吉昌
 ” 石川 智信
 ” 瀬ノ口洋史
 ” 高木 純一
 理 事 峰松 俊夫
 ” 川野啓一郎
 ” 佐々木 究
 ” 岩村 威志
 ” 米澤 勤
 ” 帖佐 悦男
 ” 嶋本 富博
 ” 園田 定彦
 ” 赤須郁太郎
 ” 大塚康二郎
 ” 玉置 昇
 ” 上山 貴子
 監 事 小牧 文雄
 ” 宮田 純一

出席24名

なお、新型コロナウイルス感染症感染対策のため、役員のうち17名は5階会議室でTV会議システムにより参加。TV会議システムは音声・映像共に双方向で通信可能であり、途中通信障害はなかった。

令和3年度第78回宮崎県医師会総会

と き 令和3年6月19日(土)

ところ 県 医 師 会 館

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、関係者のみ（役員および代議員）で縮小開催した。小牧常任理事の司会により開会し、はじめに物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。各種表彰・祝賀については、表彰式は行わず、資料への掲載および記念品などの発送をもって表彰に代えた。おわりに河野会長が謝辞を述べ閉会した。

◇物故会員

（令和2年度総会以降～令和3年度総会まで）

竹中 晃司 先生（南那珂）

大田原文男 先生（宮 崎）

照屋 好惟 先生（南那珂）

中原 浩 先生（宮 崎）

平田 実 先生（延 岡）

山脇 忍 先生（宮 崎）

中林 永一 先生（西 都）

柳田 琢也 先生（都 城）

岩切 徹 先生（南那珂）

郡山 和夫 先生（宮 崎）

※ご遺族の希望により1名は非掲載

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関に30年以上勤務し、地域医療に貢献された方を表彰するもので、本年度の対象者79名を表彰した。

◇永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会などに30年以上勤務し、功労があった職員2名を表彰した。

◇各種祝賀（高齢会員・各種表彰）

米寿・喜寿をお迎えになる高齢会員（米寿

4名、喜寿22名）および昨年度総会以降、叙位叙勲、大臣表彰、知事表彰など、県関係以上の各種表彰を受賞された28名の先生方を表彰した。

【高齢会員祝賀】

米寿会員 4名

（昭和9年1月1日～昭和9年12月31日生）

友成 久雄 先生（宮 崎）

蓑田 節夫 先生（児 湯）

赤池 義昭 先生（南那珂）

住吉 昭信 先生（宮大医）

喜寿会員 22名

（昭和20年1月1日～昭和20年12月31日生）

田中 俊正 先生（宮 崎）

永吉 洋次 先生（宮 崎）

河野 雅行 先生（宮 崎）

海老原爲博 先生（宮 崎）

内田 攻 先生（宮 崎）

緒方 克己 先生（宮 崎）

三原 敬 先生（宮 崎）

中村 周治 先生（宮 崎）

川畑 紀彦 先生（宮 崎）

安藤 健一 先生（都 城）

瀬ノ口頼久 先生（都 城）

平田 宗勝 先生（都 城）

教山 紘臣 先生（都 城）

吉井 理 先生（都 城）

吉見多喜雄 先生（都 城）

濱田 義臣 先生（都 城）

酒井 和彦 先生（都 城）

塚本創一郎 先生（延 岡）

和田 徹也 先生（日 向）

永友 慶子 先生（児 湯）

大塚 和子 先生（西 都）

宮路 重和 先生（南那珂）

【各種表彰（章）】

（令和2年度総会以降～令和3年度総会まで）

令和2年7月1日

警察部外功労者表彰（警察協力章）

和田 徹也 先生（日 向）

令和2年8月7日

国民健康保険事業及び介護保険事業功労により

国民健康保険中央会表彰

立元 祐保 先生（宮 崎）

令和2年9月7日

救急医療事業功労により県知事表彰

城山 暢博 先生（宮 崎）

佐井 伸男 先生（延 岡）

松本 英裕 先生（西 都）

令和2年10月13日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

杉田 幸雄 先生（宮 崎）

木下 義美 先生（延 岡）

令和2年10月14日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

峯 一彦 先生（南那珂）

令和2年10月16日

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

井上 雅文 先生（宮 崎）

令和2年10月19日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生

労働大臣表彰

山口 哲朗 先生（延 岡）

令和2年10月31日

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

有田 一信 先生（都 城）

令和2年11月3日

保健衛生功労により旭日双光章

相澤 潔 先生（西 都）

令和2年11月12日

医療功労により県知事表彰

立元 祐保 先生（宮 崎）

山村 善教 先生（宮 崎）

政所 治道 先生（都 城）

井手 稔 先生（延 岡）

島田 雅弘 先生（南那珂）

令和3年1月15日

公衆衛生功労により県知事表彰

獅子目賢一郎 先生（宮 崎）

淵脇 和男 先生（都 城）

山本 剛 先生（延 岡）

令和3年2月16日

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会会長表彰

速見 晴朗 先生（都 城）

大塚 和子 先生（西 都）

山元 敏嗣 先生（南那珂）

令和3年2月26日

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

早田 泰英 先生（延 岡）

渡邊 康久 先生（日 向）

令和3年3月3日

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

細川 義明 先生（宮 崎）

令和3年3月3日

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

古賀 和美 先生（宮 崎）

令和3年4月29日

学校保健功労により瑞宝双光章

原田 一道 先生（宮 崎）

令和3年4月29日

保健衛生功労により旭日双光章

夏田 康則 先生（都 城）

九州医師会連合会第390回常任委員会

と き 令和3年6月5日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

1 開 会

2 挨 拶

1) 九州医師会連合会長

(河野雅行宮崎県医師会会長)

3 報 告

1) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (6月5日(土)) について (宮崎)

常任委員会終了後開催される連絡会議の進行説明があった。

2) 令和3年春の叙勲等受章者への慶祝について (宮崎)

前日本医師会長の横倉義武(福岡)先生の旭日大綬章受章に対し九州医師会連合会名で慶祝を行った旨の報告があった。

3) 九州医師会連合会災害時医療救護協定見直しの進捗状況について (宮崎)

6月11日に検討会を開催し、協定変更案がまとまることおよび運用マニュアルの作成と上程手続きなどは次期担当県に引き継ぐ予定になっている旨の報告があった。

4) 第149回日本医師会定例代議員会 (6月27日(日)・日医) のWeb開催に伴う九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会 (6月26日(土)・東京) 並びに同連絡会議 (6月27日(日)・日医) の中止について (宮崎)

日医定例代議員会がWeb開催になったことにより、前日懇親会および当日の連絡会議は中止する旨の報告があった。

5) 令和3年度(第43回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会会長合同会議 (7月16日(金)) の中止について (宮崎)

担当の鹿児島県から新型コロナウイルス



感染症の感染拡大にともない中止する旨の報告があった。

6) その他

① 中国四国医師会連合隣接ブロック担当県医師会長会議 (5月13日(木)) (Web会議) について (宮崎)

中四国ブロック担当の鳥取県渡辺会長の呼びかけにより、近畿ブロック担当の京都府松井会長も加わり、新型コロナウイルスへの対応や勤務医活動について意見交換した旨の報告があった。

② その他

4 協 議

1) 第149回日本医師会定例代議員会 (6月27日(日)) における九州ブロック代表質問について (宮崎)

福岡県から2題、鹿児島県から1題の提案があり、協議の結果、寺澤正壽代議員(福岡県)の「診療報酬本体と薬価・材料費財源は不可分一体であり、薬価・材料費財源の引き下げ分は診療報酬本体に充当すべきである」、藤原繁代議員(福岡県)「コロナ禍における医師会立看護学校への各種補助金について」、牧角寛郎代議員(鹿

児島県)「地域医療構想調整会議のあり方の再検討～少子高齢人口減社会での地域医療構想～」とすることが承認された。

2) 九州医師会連合会第391回常任委員会(7月3日(土))の開催について(沖縄)

常任委員会および九州医連連絡会常任進行委員会はいずれも九州各県医師会を結ぶTV会議とすることが承認された。

3) 九州医師会連合会第392回常任委員会(8月7日(土))の開催について(沖縄)

常任委員会は九州各県医師会を結ぶTV会議とすることが承認された。

4) 九州医師会連合会第393回常任委員会並びに第121回定例委員総会(8月28日(土))の開催について(沖縄)

常任委員会は九州各県医師会を結ぶTV会議とし定例委員総会は書面審議、九州医連連絡会執行委員会は中止とすることが承認された。

5) 九州医師会連合会第394回常任委員会並びに第1回各種協議会(10月2日(土)那覇市)の開催について(沖縄)

各種協議会は、各県1対策協議会あたり役員2名、事務局1名以内とすることが承認された。なお懇親会については再検討することとなった。

6) 九州地方社会保険医療協議会委員(臨時委員)の推薦について(福岡)

宮崎県、沖縄県選出の委員が10月13日(水)に任期満了となることから、九医連の取り決めにより熊本県、鹿児島県から後任を推薦することが承認された。また、部会委員についても佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県で任期満了となることから、後任の人選について、九州厚生局の各県事務所から相談があるとの報告が行われた。

7) 日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について

(福岡)

ドクターバンク事業との連携強化を目的に名称を変更したことが報告されるとともに11月16日(火)にTV会議で九州各県医師会館を結び開催することが承認された。

8) 令和5年度(第67回)及び令和6年度(第68回)九州ブロック学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会(年次大会)開催担当県の交代について(宮崎)

9) 令和6年度全国学校保健・学校医大会及び九州ブロック学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会(年次大会)の同時開催について(宮崎)

協議8)と9)は一括協議され、令和5年度と6年度の九州ブロックの大会を熊本県と宮崎県が交代し、令和6年度に宮崎県が九州ブロックと全国大会を同時開催することが承認された。

10) その他

5 その他

1) 第65回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和3年度九州学校検診協議会(年次大会)(8月7日(土)・8日(日))について(沖縄)

参加者の安全と感染防止を最優先に考え、現地開催とWeb配信を併用したハイブリット形式とすることが報告され、県外からの参加は可能な限りWeb形式でお願いしたいとの説明があった。

2) その他

コロナ禍の中、日医執行部と議論する場が減り中央の意向が伝わり難いとの意見が出され、河野会長より日医理事会に改善を要望することとなった。

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長、園山次長、久永課長

令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 令和3年5月21日(金)

ところ 県医師会館 (Web開催)

1 開 会

2 会長挨拶 日本医師会長 中川 俊男

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期限延長に加え、対象地域の拡大などの措置が講じられているものの新型コロナウイルス感染症の新規感染者は増加傾向にあり、勤務医の苦労は大きくなっている。

本日は、コロナ禍における勤務環境の問題点などについての2つの講演と、医師の働き方改革に関する説明を城守日医常任理事より行う。医師の働き方改革について、日医としては医師の健康と地域医療が両立する制度の実現を目指し、国に対して強く働きかけていくとした。

3 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 令和3年度担当医師会挨拶

京都府医師会常任理事 上田 朋宏

昨年度は残念ながらコロナのため延期となったが、今回必ず行うために、令和3年10月2日(土)にWeb会議にて開催する。テーマとしては昨年度と引き続き、「勤務医とともに歩む医師会の覚悟～医師会が守るべきもの、変えるべきもの～」とし、京都府医師会と都道府県医師会をWeb会議システムで繋ぎ、ディスカッションを中心に開催する予定である。また、特別公演はオンデマンドで配信することが報告された。

4 協 議

1) 医師の働き方改革について

日本医師会常任理事 城守 国斗

働き方改革の流れとして、2018年6月に働き方改革の関連法が成立し、2019年の4月から施行になった。医師に関しては5年間の猶予期間が与えられ、その間に別途検討を行うとして、医師の働き方改革に関する検討会が設置され、医師の働き方に関する制度設計に係るフレームワークが構築された。その後、医師の働き方改革の推進に関する検討会において、具体的な中身の検討を重ねている。

勤務医10万人に労働時間調査を行ったところ、時間外労働について約4割が年960時間(週60時間)を超えており、労災の認定基準にあたる年1,920時間(週80時間)を超えている勤務医は約1割いることが分かった。この結果をふまえ、時間外労働時間について一般則として法定労働時間は年720時間と定められているが、医師の場合は一気に適応させると地域医療が成り立たないとし、2024年4月からすべての医師は勤務時間や従事する内容などにより、A、連携B、B、C-1、C-2のいずれかの水準が適用されることになった。医療機関は所属する医師に異なる水準を適用させるため、A水準以外に関しては指定を受ける必要がある。

(1) A水準：自院に勤務する医師すべての

時間外・休日労働時間が960時間以下。

- (2) 連携B水準：自院において予定される時間外・休日労働は年960時間であるが、地域の医療提供体制を確保するために、やむなく他の医療機関での勤務と通算で年960時間を超える医師が所属する医療機関。
- (3) B水準：救急医療機関や在宅医療、専門的な知識・技術や高度かつ継続的な疾病治療・管理が求められ代替することが困難な医療を提供する医療機関で時間外・休日労働時間が年960時間を超える医師が所属する医療機関。
- (4) C-1水準：研修医・専攻医が所属する医療機関。
- (5) C-2水準：特定の高度な技能の修得のため、集中的に長時間修練する必要のある医師を雇用する医療機関。

上記水準に加え、A水準以外は年960時間を超えるので、追加的健康確保措置が必要となり、連続勤務時間制限、勤務時間インターバル・代償休息などが義務化されている。

(2)～(5)に該当する医療機関は、医療機関勤務環境評価センターにより第三者評価を受け、都道府県から特例水準医療機関として指定を受ける必要があり、C-2水準の医療機関は、特定の高度な技能の教育研修環境を有しているかどうか個別審査を受ける必要がある。

評価センターによる第三者評価、審査組織による個別審査、特例水準医療機関としての都道府県による指定は2022年度から開始される予定であり、指定を受けようとする医療機関は、今年度中に時短計画案の作

成に取りかかることが求められる。特例水準を受けた医療機関は2024年度以降、時短計画に基づく取組み、特例水準適用者への追加的健康確保措置、定期的な時短計画の見直しと評価受審が義務化される。

2) 新型コロナウイルス禍における勤務医の勤務環境の問題点について

①新型コロナウイルス禍における勤務医の勤務環境の問題点について

～コロナ「重点医療機関」におけるジレンマ～

東京都保健医療公社荏原病院耳鼻咽喉科

医長・日本医師会勤務委員会委員

木村 百合香

荏原病院は2021年1月6日にコロナの重点医療機関に指定され、1月から現在に至るまでの診療体制として、外来は予約再診のみで初診は休止、入院はコロナと分娩以外の入院診療を休止、救急はコロナと精神科以外を休止としている。

新型コロナウイルス感染症の診療にあたる医師は、通常診療のように医師の裁量による判断ができず、パスに従った診察・検査・治療を行う。そのため、従来行っている身体診察や個々の病態の把握、インフォームドコンセント、急変時における患者の家族や多職種を交えた対応は、感染症予防の観点から必要最低限でしか行えず、患者との信頼関係が築きにくい。また、看取りの場面でもエンゼルケアなどは感染対策上行うことができず、家族も看取れない施設が多い。これまで築いてきた臨床倫理的な診療を覆さざるを得ない状況の中、医師は診療上のジレンマを抱えている。

コロナ重点医療機関特有のジレンマとし

ては、ほぼ全診療科がコロナ患者の担当となるため、専門診療が行えないことによりコロナ病棟拡大時には治療中の患者を途中転院せざるを得なくなった。また、複数の診療科で専攻医の派遣が撤退。地域医療機関からの患者の紹介などがなくなることにより、地域医療との関係性が断絶するなどのジレンマが発生した。

このような状況が勤務医に与える影響は大きいことから、都内3つのコロナ重点病院のすべての常勤医師を対象としたバーンアウト症候群の面からのアンケートを実施した。バーンアウト症候群とは、長期間援助活動を行う過程で、精神活動力を過度に要求されるために起こる心身の消耗と枯渇を主とする症候群のことで、情緒的消耗感、脱人格化、個人的達成感の低下が症状として出る。アンケート結果では、バーンアウト尺度の上昇が顕著であることや、個人的達成感と勤務時間とは負の相関になっていることを示した。今後、バーンアウト症候群により医療事故や離職が予測されることから、何らかの対策が必要であると述べた。

②コロナ禍での勤務医の勤務環境

－岩手県の場合－

岩手県医師会常任理事・岩手県立中央病院長

宮田 剛

岩手県は全国と比べ、比較的感染者の出現が遅く、その後の感染者数増加も他地域

に比べて緩徐であった。また、岩手県の医師の偏在指標は全国で最も低く、人口10万人当たりの診療所数は多くないものの県立病院の数が全国最多の20病院となっている。

岩手県のコロナ対応としては、重症患者を岩手医科大学と岩手県立中央病院で対応し、軽症、中等症の診療は二次医療圏内で対処した。

コロナ禍における勤務医の勤務環境の課題として、コロナ担当者の孤立感やコロナ非担当者の焦燥感が挙げられた。対応として、岩手県立中央病院では、スタッフ用宿泊施設の確保や病院幹部を含めた院内定期カンファランスの開催、いわて情報ハイウェイシステムやZoomを活用した施設間でのオンラインカンファランスを行い、医師の孤独感解消に取り組んだ。

感染曝露手技などの恐怖心は慣れにより克服できるが、孤立感や不公平感などの解消と共闘のために十分な情報共有が必要と述べた。

5 総 括 日本医師会副会長 今村 聡

6 閉 会

出席者－金丸常任理事、岩村理事

野尻課長、山本主事

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	a	a	a, c	d	c	d	e	e	a, e

お知らせ

令和3年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を2つの教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると医師事務作業補助者になるための「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、以下の2教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	就職希望者12名 (男0名、女12名)	連絡先 TEL 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村 広美 武村 順子
都城コアカレッジ (都城市)	就職希望者4名 (男0名、女4名)	連絡先 TEL 0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 谷川真菜己

日医インターネットニュースから

■「初診に適さない症状」を取りまとめへ — 厚労省、指針改定で —

厚生労働省はオンライン診療（OL診療）の指針改定に向け、日本医学会連合の提言も参考に、初診からのOL診療に適さない症状・医薬品をまとめる方針だ。初診からのOL診療に必要な患者の医学的情報、初回のOL診療前に患者の医療履歴などを把握するためのOL上の「やりとり」、医師・患者の同意の在り方などについても、詳細を今後詰める。

6月30日に開いた「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会」（座長＝山本隆一・医療情報システム開発センター理事長）で、そうした方向性を示した。

政府は18日に閣議決定した規制改革実施計画で、OL診療の特例措置を恒久化する方針を盛り込んだ。これも踏まえて厚労省は、今秋をめぐりに指針を改定する。実施計画が求めている「OL診療のさらなる活用に向けた基本方針」については、指針改定とは別にまとめる構えだが、この策定時期はまだ不透明だ。

●「明らかに使用してはまずいもの」

日本医学会連合は6月1日、「OL診療の初診に関する提言」を公表した。初診に適さない症状や、初診での投与に十分な検討が必要な医薬品について、考え方をまとめている。30日の検討会では、提言作成の中心となった南学正臣構成員（東京大大学院教授）が概要を報告した。構成員からは提言内容を評価する声が複数上がった。

今村聡構成員（日本医師会副会長）は提言取りまとめに感謝の意を示した上で、OL初診での医薬品投与について「明らかに使用してはまずいものが一定程度ある」と述べ、取り扱いに濃淡をつけるべきではないかと問題提起した。さらに、情報のないOL初診の患者に対して医薬品を長期処方することは、医療安全上も「非

常にまずい」と念を押した。

津川友介構成員（米カリフォルニア大助教授）は、例えば風邪の症状がある患者にOL診療で対応する場合、検査ができないためにリスクヘッジで抗生剤を処方することもあり得ると指摘。過剰診療の可能性に懸念を示し、医療の質の低下につながらないか、今後チェックしていく必要があるとの認識を示した。

●東京大病院、「赤字覚悟」でOL診療

南学構成員は、東京大病院で「赤字覚悟でオンライン診療を始める」ことも報告した。慢性疾患の患者を対象に、限定的に実施するという。ただ、対面診療の方が診療報酬上は有利であることも説明した。

今村構成員は、大病院でのOL診療の在り方について、どういう疾病がふさわしいのかを「アカデミアの世界で構築していくことが重要ではないか」と述べた。袴田健一専門委員（弘前大教授）は、大学病院や中核病院がOL診療に参画するには、「うまく対面診療とOL診療を組み合わせること」が重要との認識を示した。佐藤主光構成員（一橋大教授）は、病院経営の観点から見ると、OL診療の「診療報酬見直しは必須」と主張した。（令和3年7月2日）

■「危機感が共有できていない」と警鐘 — 厚労省ADB —

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（ADB、座長＝脇田隆宇・国立感染症研究所長）は7月28日、全国的な感染拡大に対して警鐘を鳴らした。特に、同日の新規感染者数が過去最多の3177人となった東京については、「40～50代を中心に入院者の増加が続いており、既に一般医療への影響が生じている」と指摘。現状への危機感を行政と国民で共有できていないことが「現在の最大の問題」とした。

東京の医療体制に関しては、入院患者数の増加に加え、本来なら入院が必要にもかかわらず自宅待機を余儀なくされている人や入院調整中の人も増加が続いていると分析。高流量の酸素投与が必要な患者も増加しているとの指摘もあった。人工呼吸器や人工心肺を使用している重症者数も増加傾向で、年代別では40～50代が最大となっている。

今後については、熱中症などで救急搬送が増加し、一般医療への負荷も大きくなる中で「このままの状況が続けば、通常であれば助かる命も助からない状況になることも強く懸念される」との見通しを示した。埼玉、千葉、神奈川といった地域についても、今後、現在の東京と同様の状況が生じることが強く懸念されると警告した。

●医療逼迫で「死者増える可能性が目前に」

ADBメンバーの釜范敏常任理事は終了後、記者団の取材に応じ、医療現場の現状について「非常に厳しい」と強調。東京については、あと少し医療が圧迫されて医療提供のレベルが落ちると、突然、重症で亡くなる人の数が増えてくると予測し、「死亡者の数が増える可能性が目前に迫っている」と訴えた。

また、釜范氏も、国と国民の間で感染拡大に対する危機感が共有できていない点に言及。急激に医療現場の対応力が落ちて、病気になっても治療を受けられない人が発生する事態が迫っていることに強い危機感があるとした一方で、なかなかその危機感が多くの人に伝わっていないことに懸念を示した。その上で、「国・自治体・医療従事者がワンボイスで強いメッセージをそれぞれの立場で出して、国民に今どうい

状況なのかを分かっていたことが一番求められている」と述べた。

また、菅義偉首相が会見などで感染状況の認識を問われた際に、65歳以上の感染者数が減少している点を強調することについては、「確かにワクチンの効果によって（感染状況が）改善していることは確かだ」と述べた。ただ、「だからと言って、今の状態が安心できる状態なのかという決してそうではない」とも指摘。ワクチンをまだ接種できていない人々の中からの感染者や重症者の発生はしばらく続くとした上で、「危機意識をぜひ幅広く、総理も含めて持っていただきたいと思う」と語った。

（令和3年7月30日）

■医療従事者の優先接種、全都道府県完了 — 河野担当相 —

河野太郎行政改革担当相は7月27日の会見で、全国知事会の飯泉嘉門会長（徳島県知事）から、医療従事者等に対する新型コロナウイルスワクチンの優先接種を今月23日までに全都道府県で完了したとの報告を受けたと明らかにした。医療従事者等への接種は今年2月中旬から始まり、終了までに約5カ月の期間を要した。医療従事者等が接種券付き予診票で接種を受けた分については、ワクチン接種記録システム（VRS）への手入力が必要になる。河野担当相は、当初の想定より接種を受けた医療従事者等が多かったことから「入力が大変になるかと思っているが、これに関しては国の方で全面的に費用負担してやっていきたい」と述べた。

（令和3年7月30日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合 第37回通常総代会

と き 令和3年6月19日(土)

ところ 県 医 師 会 館

山村副理事長の開会宣言後、議長選任を諮ったところ、松本英裕議長が選任された。松本議長から、総代の定数および出席総代と書面議決、委任状による出席の確認が行われ、定款に基づき通常総代会の成立を宣言した。

続いて、河野理事長挨拶の後、議事に入り、総代会に上程された4議案についての審議が行われ、議長採決の結果、議案第1号から4号までの議案全てについて、賛成多数で承認可決された。

議案第1号 令和2年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件

小牧専務理事から事業報告として、共同購買事業はフィルム以外で前年度実績を上回り、前年度比150.5%。保険事業の好調な損害保険は前年度比100.3%で、生命保険はコロナ禍による面談自粛などにより前年度比63.6%。カード取扱事業のカード登録件数は前年度を上回ったが、手数料は年間を通したコロナ禍による売上減により前年度比84.4%。幹旋・集金事業はマンション幹旋手数料がなく、前年度比84%となった。

引き続き、吉田副理事長から決算として、財産目録、貸借対照表、損益計算書の中で、カード取扱収益で前年度マイナス204万円、幹旋集金収益で前年度マイナス205万円、保険収益の生命保険で前年度マイナス675万円となったが、一般管理費についても前年度マイナス713万円

となり、減収・減益で当期純利益は当初予算を上回る27,328,447円となった。その他、資産合計524,321,538円、純資産合計453,867,547円、事業収益合計353,557,151円などの説明の後、剰余金処分案について説明が行われ、次いで桑原監事から、監査報告が行われた。

議案第2号 令和3年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件

小牧専務理事から事業計画について、各医療機関などとの連携強化をはじめとする重点施策の下、業績の堅調な損害保険、マンション幹旋事業の他、昨年からのBMW、ベンツの割引販売なども始め、昨年度に引き続き購買事業などに目標を定め、積極的に取り組んでいくとの説明があった。また、吉田副理事長から予算について、カード取扱収益、幹旋集金収益、保険収益などを含めて、税引前当期純利益は前年度より増の税引前3,854万円を見込んでいることが説明された。

議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件**議案第4号 役員報酬決定の件**

上記2議案は一括審議され、吉田副理事長から、議案第3号は、借入金残高最高限度額1,000万円とする提案。議案第4号は、役員報酬を予算の範囲内で、理事8名分で299万円、監事2名分で16万円とすることが提案された。

最後に、松本議長が閉会を宣言し、第37回通常総代会を終了した。

出席総代 (47名)

川 名 隆 司	市 来 能 成	牛 谷 義 秀	尾 田 朋 樹
金 丸 禮 三	神 尊 敏 彦	高 村 一 志	田 中 俊 正
中 山 健	成 田 博 実	原 田 雄 一	河 野 雅 行
濱 田 政 雄	山 村 善 教	小 牧 齋	石 川 智 信
川 野 啓一郎	佐々木 究	高 木 純 一	玉 置 昇
上 山 貴 子	桑 原 正 知	弘 野 修 一	篠 原 立 大
内 野 竜 二	田 口 利 文	檜 原 進一郎	長 倉 穂 積
伊 達 晴 彦	久保田 秀 紀	瀬ノ口 洋 史	小 牧 文 雄
佐 藤 信 博	牧 野 剛 緒	吉 田 建 世	宮 田 純 一
千代反田 晋	今給黎 承	永 友 和 之	米 澤 勤
松 本 英 裕	中 村 彰 伸	内 村 大 介	園 田 定 彦
井 尻 裕 司	吉 村 雄 樹	植 松 昌 俊	

7月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年7月1日～7月27日

1 老いの福袋	樋 口 恵 子	中央公論新社
2 1%の努力	西 村 博 之	ダイヤモンド社
3 あんなにあんなに	ヨシタケシンスケ	ポ プ ラ 社
4 もしも徳川家康が総理大臣になったら	眞 邊 明 人	サンマーク出版
5 スマホ脳	アンデシュ・ハンセン	新 潮 社
6 人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
7 52ヘルツのクジラたち	町 田 その子	中央公論新社
8 わたしの幸せな結婚⑤	顎 木 あくみ	KADOKAWA
9 竜とそばかすの姫	細 田 守	KADOKAWA
10 もういちど	畠 中 恵	新 潮 社

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

※実施期間および接種期間：令和4年3月末日まで

※提出期限：令和4年5月20日(金)必着

1	健康診断（無料）	5	肺炎球菌ワクチン接種補助
2	胃・大腸内視鏡検査の補助	6	乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
3	低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）	7	歯科健康診査（無料）
4	脳ドックなどの補助		

★特定健診

特定健診対象者（年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む））

※自家健診で実施した場合も実績となります。

すでに健診を受けられた方は、健康診断個人票（ピンク色）に記入・押印のうえ、健診結果のコピーを添付して提出してください（結果を転記されなくても結構です）。

★特定保健指導

特定健診受診者のうち、特定保健指導対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りしています。

※宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。ただし、子宮頸がん検診および大腸内視鏡検査は平日実施となります（予約は当組合にお電話ください）。

① 実施日：

令和3年9月12日、10月17日、11月21日、12月12日

令和4年1月23日、2月13日、3月6日

② 定 員：各30名

★日曜日の胃部内視鏡検査および低線量ヘリカルCT肺がん検診について

※実施人数：1日5名まで

（次の日程は定員に達しました→胃部内視鏡：9/12、10/17、11/21 ヘリカルCT：9/12、10/17、12/12）

※申込受付は先着順です。お申込みはお早目をお願いします。例年、特に年明け以降はお申込みが大変多くなっておりますので、なるべく年内の日程をおすすめします。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、令和3年5月1日から同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

**令和3年6月1日(火) 第4回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①学校給食における食物アレルギー対応委員会委員の推薦について

→学校給食における食物アレルギーの適切な対応を目的に設置される委員会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、現委員の意向を確認のうえ、推薦することが承認された。

②宮崎県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

→訪問看護事業の円滑かつ効果的な推進を図るために設置される協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、池井常任理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 5月末日現在の会員数について
2. 5/26(水) 日本学校保健会理事会について
3. 5/28(金) (宮大) 宮大学長選考会議について
4. 5/27(木) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
5. 5/28(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

6. 6/1(火) (県医) 治験審査委員会について
7. 5/31(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議小幹事会について
8. 5/26(水) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
9. 5/27(木) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について

**医師連盟関係
(報告事項)**

1. 6/1(火) 日医連執行委員会について

令和3年6月8日(火) 第1回理事会**医師会関係
(議決事項)****議案第1号****令和2年度宮崎県医師会事業報告に関する件**

小牧常任理事から資料に基づき、「令和2年度事業は令和元年度第2回理事会で承認された事業計画に従って進めた。特に、新型コロナウイルス感染症への対応や九州医師会連合会担当県としての業務に力を入れた。事業報告書は4つの公益事業（生涯教育関係、地域医療関係全般、県民の健康教育関係、母子乳児・学校保健関係）と、共益および収益事業を含むその他の事業に分け、なるべく数値化するなどして、分かりやすく記載することに努めた」などとの説明が行われた。変更項目などの確認を行った後、審議の結果、軽微な変更は河野会長に一任することとしたうえで、出席者全員（22名）の賛成をもって原案どおり可決承認された。

議案第2号**令和2年度宮崎県医師会収支決算に関する件**

吉田常任理事から資料に基づき、「令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、公益目的事業の実施が縮小された一方で、収益事業は大きな影響を受けなかった。また、公益認定基準に定められた財務三基準のうち遊

休財産が8,400万円ほどの超過となった。ただし、行政から、新型コロナウイルス感染症による遊休財産の超過についてはその事情を斟酌するとの回答を得ている。将来に向けた解消方法については、今後協議する」などとの説明が行われた。

次に小牧監事から、「5/28(金)に法人運営と財務会計の監査を行い、関係書類も整備され適正妥当である」との監査報告があり、審議の結果、出席者全員(22名)の賛成をもって、原案どおり可決承認された。

議案第3号

令和4年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

吉田常任理事から、「令和4年度の会費も令和3年度と同様に会費賦課徴収規程などに則り徴収したい」との提案があり、審議の結果、出席者全員(22名)の賛成をもって、原案どおり可決承認された。

(報告事項)

1. 令和2年度 資金運用結果について

吉田常任理事から、「国債および定期預金の合計2億2,551万円を運用した結果、822,706円の運用益があった」との報告が行われた。

令和3年6月8日(火) 第3回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等の報酬等規程に基づき、28名の役員等に報酬を支給することが承認された。

2. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程に基づき、宮崎県人事委員会の勧告および決算等諸状況を参考に、20名の職員に期末・勤勉手当を支給することが承認された。

3. 管理職調整手当(令和3年6月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末・勤勉手当にあわせて5名の職員に支給することが承認された。

4. 6/19(土)(県医)県医師会定例代議員会・総会について

進行や役割分担、提出議題などが承認された。また、新型コロナウイルス感染対策のため、会議時間の短縮や参加者を県医師会館2階と5階に分散し開催することが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

→後期高齢者の療養費適正化に関して検討する研究会の委員について、任期満了にともない内科2名、整形外科2名の推薦依頼があり、現委員に再任の方向で意向を確認し、必要があれば専門分科医会に人選をお願いしながら推薦作業を進めることが承認された。

6. 業務委託について

①令和3年度自殺対策に係る人材育成研修事業の委託契約について

→自殺のハイリスク要因であるうつ病や自殺未遂などについて医師や医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和3年度医師養成・確保支援事業の委託契約について

→医師のキャリア形成と県内の医師不足解消を目的に、中高生に医師を志してもらうためのセミナーや、学生向けの臨床研修病院の説明会、指導医向けの研修会などさまざまな活動を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和3年度小児在宅医療を担う人材の養成などに関する業務の委託契約について
→医療的ケア児などが地域で安心して暮らすことを目的に、小児在宅医療を担う人材を養成する研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

④令和3年度認知症地域医療支援事業の委託契約について
→認知症患者への支援体制を充実・強化するために、医師や医療従事者に対し研修会を開催したり、研修会を受講した医師をみやざきオレンジドクターとして公表し相談しやすい体制を整備する事業で、委託契約を締結することが承認された。

⑤令和3年度小児科専門研修医症例研究事業の委託契約について
→小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図ることを目的に、県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会などを実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

⑥令和3年度ロコモ予防運動推進事業に関する業務の委託契約について
→「健康寿命社会」の実現のため、県民に対しロコモティブシンドロームに関する知識や予防のための運動の普及などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

⑦令和3年度生きる力を育む健康教育充実事業「専門医による性に関する相談事業」の委託契約について
→10代の人工妊娠中絶、性感染症、性の逸脱行動など、性に関する諸問題の解決を目的に、専門医が児童・生徒、教職員および保護者などからの相談を受ける事業で、委託契約を締結すること

が承認された。

⑧令和3年度家族計画および避妊指導に関する調査研究事業の委託契約について
→望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

7. 母体保護法指定医師の新規申請等について
母体保護法指定医師審査委員会の答申を受け申請のあった1名を指定することが承認された。

(報告事項)

1. 6/2(水) (県企業局) 県医療介護推進協議会について
2. 6/2(水) (県企業局) 県医療審議会について
3. 6/5(土) (県医) 九医連常任委員会について
4. 6/8(火) 県がん診療連携協議会について
5. 6/4(金) 日医公衆衛生委員会について
6. 6/5(土) (県医) 九州ブロック日医代議員連絡会議について
7. 6/4(金) 日医医療秘書認定試験委員会について
8. 6/3(木) (県医) 学校医部会理事・評議員会について
9. 6/1(火) (県医) 母体保護法指定医師審査委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/19(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について
進行や役割分担、提出議題などが承認された。また、新型コロナウイルス感染対策のため、会議時間の短縮や参加者を県医師会館2階と5階に分散し開催することが承認された。
2. 令和2年度県医師連盟会務報告について
例年の事業に加え、令和2年度は特に新型コロナウイルス感染症に関する要望活動

を国や県、国会議員などに対し活発に行ったことが報告、承認され、6/19(土)に開催される執行委員会に上程することとなった。

3. 令和2年度県医師連盟収支決算について

収入合計2,987万4,750円、支出合計2,378万3,662円、次期繰越収支差額4,458万5,089円からなる決算が承認され、6/19(土)に開催される執行委員会に上程することとなった。

4. 第49回衆議院議員総選挙の推薦候補者について

政権与党候補者3名を推薦することが承認され、6/19(土)に開催される執行委員会に上程することとなった。

5. 6/27(日)（ホテルメリーージュ）選挙対策委員会の開催について

次期参議院議員通常選挙の候補者選考について協議する委員会で、選挙対策委員の河野委員長が別の公務のため、山村常任執行委員が出席することとなった。

令和3年6月22日(火) 第5回常任理事協議会

会議冒頭に、県医師会等事務職員3名に対し永年勤続表彰を行った。

医師会関係

（議決事項）

1. 7/30(金) 令和3年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」連絡協議会の開催について

各都道府県医師会の警察活動に協力する医師の部会の連携と日医や関係省庁との情報共有などを図ることを目的に開催される会で、玉置理事の出席と県警察医会から1名の出席が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

- ①県障がい者自立支援協議会医療的ケア児等支援部会における構成員の推薦について
→医療的ケア児等のより良い地域生活に

向けた支援体制の充実を目的に設置されている部会で、現委員に追加し、県医師会小児科担当として高木常任理事を推薦することとなった。

②県循環器病対策推進協議会委員の推薦および就任について

→県が新たに「循環器病対策推進計画」を策定するために設置される委員会への推薦依頼で、地域医療担当の金丸常任理事を推薦することとなった。

③県麻薬中毒審査会委員の推薦について

→麻薬の乱用による保健衛生の危害を防止するとともに公共の福祉の増進を図ることを目的に設置される審査会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、現委員に再任の方向で意向を確認し、辞任の申出があれば再度検討することとなった。

④宮崎県地域医療対策協議会委員等の推薦について

→医師確保の推進や関係機関との連携を通じて、県内の地域医療提供体制の整備充実を図ることを目的に設置される協議会の任期満了にともなう推薦依頼で、協議会の委員に河野会長、荒木常任理事、金丸常任理事、幹事会の委員に金丸常任理事を推薦することが承認された。

⑤県立病院事業評価委員会委員への就任について

→県立病院の事業経営計画の進捗状況などについて評価提言を行う委員会の任期満了にともなう就任依頼で、引き続き河野会長が委員に就任することが承認された。

⑥九州地方社会保険医療協議会臨時委員の委嘱について

→保険医療機関の指定や取消しなどを審

議する九州地方社会保険医療協議会宮崎部会の、診療側臨時委員の任期満了にともなう推薦依頼で、引き続き嶋本理事を推薦することとなった。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①10/9(土) 第61回県精神保健福祉大会の後援について

→精神保健福祉に対する理解を深め、県民の心身の健康の保持増進に努めるとともに、地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

②10/2(土)・3(日) (フィオーレKOGA看護専門学校)「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021宮崎」に関する後援名義使用承認のお願いについて

→がん征圧の大切さを社会に訴えるイベントで、名義後援を行うことが承認された。なお、例年はがんを患った方やその関係者が語り合いながら歩くというイベントであるが、今回はルミナリエ展示などが行われる。

4. 7/8(木) (県庁) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、玉置理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 7/3(土) 九州医師会連合会第391回常任委員会(Web会議)の開催について

Web会議で開催され、河野会長の出席が承認され、提出議題などについては河野会長に一任することとなった。

6. 10/2(土) (沖縄県) 九州医師会連合会令和3年度第1回各種協議会の開催種目について

各理事に開催種目の希望を照会したうえで、回答することとなった。

7. 九州医師会連合会会員数等について

九州医師会連合会会則に則り、常任委員として河野会長、委員として濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木・池井・金丸常任理事、松本議長を選出することが承認された。また、会員数などについては、事務局で確認のうえ、報告することとなった。

8. 業務委託について

①令和3年度医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について
→勤務環境の改善に取り組む医療機関に対して、総合的な支援体制を構築することを目的とする事業で、委託契約を締結することが承認された。

9. 令和3年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立学校の学校医報酬について県教育庁からの基準額の提示があり、提示額どおり承認された。

10. 7・8月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/15(火) (県医) 日医理事会について

3. 6/17(木) (県医) 若年がん患者等妊よう性温存支援事業の事前説明会について

4. 6/9(水) (総合保健センター) 県健康づくり協会理事会について

5. 6/19(土) (県医) 県医定例代議員会・総会について

6. 6/16(水) 地域医療現場における働きやすい環境を考える会について

7. 6/16(水) (県医) 広報委員会について

8. 6/11(金) (県医) 九医連災害時医療救護協定見直し検討会について

9. 6/11(金) (宮大医学部) 宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会について

10. 6/13(日) (県医) 日本プライマリ・ケア連
合学会総会・ブロック支部長会議について
11. 6/15(火) (県医) 小児在宅医療に関する打
合せ会について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 7/3(土) 九州医連連絡会第31回常任執行
委員会(Web会議)の開催について

Web会議で開催され、河野委員長の出席
が承認され、提出議題などについては河野
委員長に一任することとなった。

2. 九州医連連絡会の役員について

九州医連連絡会規約に則り、常任執行委
員としては本県医師連盟の河野委員長、執
行委員としては本会選出の九州医師会連合
会濱田・山村・吉田・小牧・荒木・池井・
松本委員を選出することが承認された。

3. 令和4年度国・県に対する要望について

役員に照会の結果、「新型コロナウイルス
感染症対策について」をはじめ国に9項
目、県に10項目の要望を提出することお
よび7/30(金)のヒアリングには河野委員
長、濱田・山村・小牧常任執行委員が対応
することが確認された。

4. 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催
のご案内について

7/13(火)または14(水)に開催される懇談会
で、要望内容としては自民党への国政に対
する要望を利用することなどが承認され
た。参加者については対応できる役員は事
務局に連絡することとした。

(報告事項)

1. 6/19(土) (県医) 県医師連盟執行委員会に
ついて

日本医師会

医師年金

—ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の
私的年金です。

日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入で
きます(申し込みは64歳3カ月までをお願いします)。

医師年金
ホームページで
ご加入時の

受取年金額のシミュレーションが
できます!

医師年金

検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

医師年金の特長 医師年金のしくみ 受取年金額のシミュレーション よくあるご質問 手続ガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

見積もり機能拡充 現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか?

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみよう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。

マイページ登録 マイページへログイン

【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入
り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入
力すると、年金プランが表示されます。

【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で
医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

県 医 の 動 き

(7月)

1	医師国保組合理事会（秦理事長他）
2	園医部会理事会（Web会議）（山村副会長他） 県内科医会理事会（Web会議）（金丸常任理事他）
3	九医連常任委員会（Web会議）（会長） 九州医連連絡会常任執行委員会（Web会議） （河野委員長） 在宅医療協議会研修会（Web会議） （石川常任理事他） 県専門医プログラム合同説明会（金丸常任理事）
5	県糖尿病対策推進会議幹事会（Web会議） （会長他）
6	治験審査委員会（荒木常任理事他） 第6回常任理事協議会（会長他）
8	社会保険医療担当者の新規個別指導（玉置理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本理事他）
9	日医勤務医委員会（金丸常任理事） 県地方独立行政法人評価委員会（会長） 県有床診療所協議会役員会（Web会議）（会長他） 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 （濱田副会長他）
10	九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 （Web会議）（山村副会長） 産業医研修会（実地）（園田理事）
12	妊産婦等への歯科保健指導事業に関する打合せ（濱田副会長他）
13	第7回常任理事協議会（会長他）
14	日医会員の倫理・資質向上委員会（Web会議） （会長） 支払基金支部運営委員会（会長） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 （池井常任理事） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 臨床検査精度管理調査実行委員会（Web会議）
15	日医定款・諸規程検討委員会（Web会議） （小牧常任理事） 医師国保組合通常組合理事会（秦理事長他）
16	自見事務所学校健診における側弯症検診に関する意見交換会（Web会議）（帖佐理事）

20	日医理事打合せ（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 宮大医学部地域枠・地域特別枠・地域貢献枠 全体ミーティング（金丸常任理事）
21	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理 事会（Web会議）（石川常任理事） 全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会 （Web会議）（秦理事長） 九州学校検診協議会専門委員会（腎臓部門） （Web会議）（宮田監事） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）
24	日医未来医師会ビジョン委員会（Web会議） （大塚理事）
26	県外科医会理事会（Web会議）（岩村理事）
27	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 九州学校検診協議会専門委員会（運動器部門） （Web会議）（帖佐理事） 第4回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他）
28	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 労災診療指導委員会（川野理事） 九医連事務引継ぎ（Web会議）（会長他）
29	日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 （Web会議）（峰松理事）
30	自民党県連国・県に対する要望ヒアリング （河野委員長他） 都道府県医師会警察活動に協力する医師の部 会（仮称）連絡協議会（Web会議）（玉置理事） 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当 理事連絡協議会（日医TV会議）（濱田副会長他） 九州学校検診協議会専門委員会（心臓部門） （Web会議）（高木常任理事） 九州学校検診協議会専門委員会（小児生活成 長発育部門）（web会議）
31	東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議 （金丸常任理事） 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会 （会長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年7月8日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

1) 男性医師求職登録数 10人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	5	3	2
麻 酔 科	1	0	1
精 神 科	2	1	1
老 健	2	1	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 82人 (人)

	男 性 医 師	女 性 医 師	合 計
令 和 3 年 度	2	2	4
平成16年度から累計	59	23	82

3. 求人登録 100件 351人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	108	84	24	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	27	22	5	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	30	24	6	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	4	2	2
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	13	2	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	8	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	6	5	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	6	6	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	351	279	72

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230212	医)青葉会のぞきクリニック	宮 崎 市	内,在宅	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年7月8日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり (30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮崎県医師会行事予定表

令和3年7月28日

8				月			
1	日	8：30	中四九地区医師会看護学校協議会（Web会議）	14	土		↓
		10：30	全国有床診療所連絡協議会常任理事会（Web会議）	15	日		
		12：50 14：00	山口那津男公明党代表との懇談会 公明党時局講演会	16	月		
2	月	19：00	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会（Web会議）	17	火	13：00 日医理事打合会（Web会議） 14：00 日医理事会（Web会議） 19：00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会（Web会議） 19：00 在宅医療研修会企画小委員会（Web会議）	
		19：00	県内科医会理事会（Web会議）				
		19：00	新型コロナ自宅療養者健康観察体制整備事業打合せ				
3	火	17：30	治験審査委員会（Web会議）	18	水	16：00 支払基金支部運営委員会	
		19：00	第8回常任理事協議会				
4	水	14：00	日医地域包括ケア推進委員会（Web会議）	19	木	19：00 労災部会自賠委員会（Web会議） 19：30 県産婦人科医会全理事会（Web会議） 19：45 損害保険医療協議会（Web会議）	
		15：00	日医医師会共同利用施設検討委員会（Web会議）				
5	木			20	金	13：30 県国民健康保険運営協議会 19：00 広報委員会（Web会議）	↑
6	金	15：30	県デジタル社会推進協議会（Web会議）	21	土	14：30 産業医研修会（前期）	↑
		18：30	県外科医会夏期講演会（Web会議）	22	日		国 社 保 保 審 査 ↓
		18：30	県循環器病対策推進協議会	23	月		
7	土	14：00	九医連常任委員会（Web会議）	24	火	18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18：30 医協理事会 19：00 第5回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
		15：00	九州学校検診協議会幹事会（Web会議）				
		16：00	九州各県医師会学校保健担当理事者会（Web会議）				
8	日	(山の日)		25	水	15：00 労災診療指導委員会 19：00 医学会誌編集委員会（Web会議）	↓
		9：00	九州ブロック学校保健・学校医大会／九州学校検診協議会（Web会議）	26	木	19：00 医師国保組合理事会	
9	月	(振替休日)		27	金	14：00 日医公衆衛生委員会（Web会議） 14：00 宮大医学部医の倫理委員会 16：00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）	
10	火	19：00	第9回常任理事協議会				
11	水	15：00	全国医師国保組合連合会理事会（Web会議）				
12	木	19：00	広報委員会（Web会議）	28	土	14：00 九医連常任委員会（Web会議）	
13	金			29	日		
				30	月	19：00 学校医部会総会・医学会（Web会議）	
				31	火		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧いただけます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年7月28日

9			月		
1	水		16	木	日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議)
2	木	19:00 子ども救急医療電話相談に関する意見交換会 (Web会議)			19:00 広報委員会 (Web会議)
3	金	13:30 県立病院事業評価委員会	17	金	
		14:00 県衛生環境研究所調査研究評価委員会	18	土	15:00 県産婦人科医会秋期総会・講演会 (Web会議)
		19:00 認知症サポート医・かかりつけ医フォローアップ研修会	19	日	
4	土	15:00 日医未来医師会ビジョン委員会	20	月	(敬老の日)
		15:30 県医師会医学会 (Web会議)			13:00 日医理事打合せ (Web会議)
		16:30 (福岡) 九州医師協同組合連合会理事会	21	火	13:30 日医理事会 (Web会議) 15:00 都道府県医師会長会議 (Web会議)
5	日				
6	月				
7	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議)	22	水	19:00 広報委員会 (Web会議)
		19:00 第10回常任理事協議会	23	木	(秋分の日)
8	水	13:00 日医会員の倫理・資質向上委員会			
9	木	14:00 日医学術推進会議 (Web会議)	24	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
		19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)			
10	金	13:00 日医勤務医委員会			
11	土	14:00 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等 (Web会議)	25	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 14:30 産業医研修会 (前期)
		14:00 (北海道) 全国医師会共同利用施設総会	26	日	(福岡) eレジフェア
12	日	9:30 (北海道) 全国医師会共同利用施設総会	27	月	19:00 糖尿病性腎症重症化予防研修会 (Web会議)
13	月		28	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 第6回全理事協議会
14	火	19:00 第11回常任理事協議会			
15	水	16:00 支払基金支部運営委員会	29	水	15:00 労災診療指導委員会
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			30	木	

日本医師会からのお知らせ



**応募
要項**

生命

いのち

第5回

を見つめる フォト&エッセー

**フォト
部門**

**エッセー
部門**

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門



野町和嘉
写真家
/日本写真家協会会長



岩合光昭
動物写真家



上白石萌歌
女優

■ エッセー部門



養老孟司
東京大学名誉教授
/解剖学者



玄侑宗久
作家 / 福原寺住職



水野真紀
俳優

応募締め切り

**2021年
10月6日(水)
必着**



公式ホームページ <https://jigyuu.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。

※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。

※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可とします。

■作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。

■応募作品は、2018年6月1日以降に撮影したものに限りです。

■応募は1人3点までに限りです。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金5万円、賞状他
小中高生の部	入選(数点)	賞金3万円、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード3万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他

応募締め切り 2021年10月6日(水) 必着

応募規定

■応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限ります。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じて、主催者は責任を負いません。

※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。

※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。

※ご記入いただいた個人情報、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

作品
送付先

〒104-0061
東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F
「生命を見つめるフォト&エッセー」係



病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師から宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。

【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

■応募は1人1点までに限りです。

※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とします。ウェブ応募の際は公式ホームページからダウンロードしたテンプレートを使用してください。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金10万円、賞状他
中高生の部	入選(数点)	賞金3万円、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード3万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他
小学生の部	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード1万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他

■応募作品は返却いたしません。

■入賞作品の発表は、2022年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。

■表彰式は2022年2月に東京都内で実施予定です。

■医師および医療従事者も応募可能です。

※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

公式ホームページ
二次元バーコード



応募方法

◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyouyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

【問い合わせ】読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙 ※氏名は実名のみの受付となります。

応募部門	☐ フォト部門 一般の部 ☐ フォト部門 小中高生の部 ☐ エッセー部門 一般の部 ☐ エッセー部門 中高生の部 ☐ エッセー部門 小学生の部	題名	
氏名	ふりがな	年齢	歳
		(年 月 日生)	
		性別	☐ 男 ☐ 女
住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 (都 道 府 県)		
MAIL			
職業(学校名・学年)	フォトのみ 撮影年月日 年 月 日	撮影場所	撮影機材
確認の上、 チェック ☒ を 入れてください	☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません ☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません		
知本 った コン テス ット を かけ	(1) 読売新聞を見て (2) 病院、医療機関で見て (3) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (4) 写真店・カメラ屋で見て (5) 読売新聞ホームページを見て (6) このチラシを見て (7) 医療関係者から聞いて (8) 友人・知人から聞いて (9) 雑誌や本を見て(具体的に:) (10) 公募サイトで見て(具体的に:) (11) インターネット広告を見て (12) 日本医師会ホームページを見て (13) 日本医師会からのお知らせを見て (14) その他(具体的に:)		

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第29回宮崎心エコー研究会 (Web講習会) 8月2日(月) 19:00～20:10 第一三共(株)宮崎営業所 ※受講はWebのみ	循環器診断における心エコーの役割 薬物治療から最先端治療まで：心エコーに出会ってから の25年間を振り返って 宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野 教授 渡邊 望 他	1 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 8月3日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第8回地域連携で心不全を考える会 (Web講習会) 8月3日(火) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	地域で診る心不全 ～びわこ心不全連携スコアを活用して～(仮) 滋賀県立総合病院 循環器内科 副部長 犬塚 康孝 他	12 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月5日(木) 14:00～16:00 県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科 医会8月例会学術 講演会(乳がん検 診研修会)(Web 講習会) 8月5日(木) 19:00～20:20 ニューウェルシテ ィ宮崎 ※受講はWebのみ	乳房の健康と術後のQOL向上を目指して ～エクオールの可能性～ 湘南記念病院乳がんセンター センター長 土井 卓子	1 (0.5) 83 (0.5) 乳	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会館 ☎0985-77-9100
令和3年度宮崎県 外科医会夏季講演 会(日本臨床外科 学地方会) (Web講習会) 8月6日(金) 18:30～21:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	右側大動脈弓を伴った食道癌手術症例の経験 宮崎大学医学部 外科学講座 河野 文耶 他	15 (2.5)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 8月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第11回在宅医療推進のためのスキルアップ研修会 (Web講習会) 8月19日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	在宅医療における認知症患者のケアのコツ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 船橋 英樹	80 (10)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
都城市北諸県郡医師会学術講演会 (Web講習会) 8月19日(木) 19:00～20:30 都城ロイヤルホテル ※受講は現地またはWeb	GERD診療における最近の知見 ～GERD診療ガイドライン2021の改訂ポイントを含めて～ 日本医科大学 消化器内科 主任教授 岩切 勝彦	50 (0.5) 51 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)
延岡医学会講演会 (Web講習会) 8月20日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	最近の複雑病変に対するPCI治療の話題 宮崎県立延岡病院 循環器内科 医長 黒木 一公 ----- ACS後の積極的脂質低下療法の意義 熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学 教授 辻田 賢一	75 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アムジェン(株) アステラス製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
心不全の新たな治療戦略 (Web講習会) 8月25日(水) 19:00～20:00 KITEN ※受講は現地またはWeb	心不全ステージ分類で紐解く2021年の慢性心不全薬物治療～いつ・どこで・誰が診るのか～ 国際医療福祉大学大学院 医学研究科 循環器内科部門 教授 国際医療福祉大学 福岡薬学部 教授 岸 拓弥	12 (0.5) 24 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月26日(木) 19:00～21:00 県医師会館	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
高カリウム血症セ ミナーin宮崎 (Web講習会) 8月26日(木) 19:00～20:10 MRT-micc ※受講はWebのみ	保存期高カリウム血症治療の新展開 藤田医科大学 腎臓内科 主任教授 坪井 直毅 ロケルマで高カリウム血症治療は変わったのか?? 大阪府済生会中津病院 腎臓内科 副部長 血液浄化療法センター センター長 嶋津 啓二	51 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 宮崎透析医会 アストラゼネカ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会総務課 ☎0985-77-9100
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 8月27日(金) 19:00～20:00 ホテルベルフォー ト日向 ※受講は現地また はWeb	当エリアにおける病診連携について 社会医療法人泉和会 千代田病院 理事長 千代反田 晋 「JCSガイドラインを踏まえた治療のポイントについて」(仮) 宮崎市郡医師会病院 循環器 内科 部長 栗山 根廣	12 (0.5) 50 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 武田薬品工業(株) 大塚製薬(株)
令和3年度宮崎県 医師会学校医部会 総会・医学会 (Web講習会) 8月30日(月) 19:00～20:30 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	子供の運動器が危ない ～運動器健診：コロナ禍の影響と関係各位へのお願い～ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男 他	11 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 宮崎県学校医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和3年度宮崎県 医師会医学会 (Web講習会) 9月4日(土) 15:30～17:30 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	数理モデルを用いた新型コロナウイルス感染症の流行 制御 京都大学大学院 医学研究科・医学部 環境衛生学 教授 西浦 博	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	新型コロナワクチン，接種をどう進めるか 京都大学大学院 医学研究科 非常勤講師 村中 璃子	8 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月7日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		6 (0.5)	
		9 (0.5)	
		11 (0.5)	
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 9月9日(木) 19:00～20:30 ホテルJALシティ 宮崎 ※受講は現地またはWeb	当院における生物学的製剤によるアトピー性皮膚炎の 治療経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野 助教 西川 陽太郎	20 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526
	アトピー性皮膚炎治療戦国時代 ～長期寛解維持を目指して～ 関西医科大学 皮膚科学講座 教授 谷崎 英昭	26 (0.5) 70 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月16日(木) 19:00～21:00 県医師会館	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		6 (0.5)	
		9 (0.5)	
		11 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月17日(金) 19:00～21:00 県医師会館	精神科産業医が遭遇する困難事例(1) 産業保健相談員 西都病院 医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 9月17日(金) 19:00～20:00 ガーデンベルズ小林 ※受講は現地また はWeb	人吉医療センター循環器内科の取り組み ～心不全合併糖尿病に対するSGLT2阻害薬の知見を含 めて～(仮) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 人吉医療センター 循環器内科 部長 黒川 博文	76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 日本ベーリンガーイン ゲルハイム(株) 日本イーライリリー(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 9月21日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第146回宮崎県皮膚 科医会懇話会/第29 回日本臨床皮膚科 医会宮崎県支部会 9月25日(土) 18:00～19:00 県立宮崎病院	新しいガイドラインから紐解く最新の皮膚真菌症 楠原皮膚科医院 院長 楠原 正洋	12 (0.5) 26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 (連絡先) にしだ皮膚科 ☎0985-56-4112

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月28日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード (略称：CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	29 認知能の障害	57 外傷
2 医療倫理：臨床倫理	30 頭痛	58 褥瘡
3 医療倫理：研究倫理と生命倫理	31 めまい	59 背部痛
4 医師－患者関係とコミュニケーション	32 意識障害	60 腰痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	61 関節痛
6 医療制度と法律	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 感染対策	36 視力障害、視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 地域医療	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 医療と介護および福祉の連携	41 嘔声	69 不安
14 災害医療	42 胸痛	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常 (下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疽	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	0 その他

診療メモ

モンスターペイシメント対策と
事前準備について弁護士法人きさらぎ 弁護士 高 山 桂
たか やま けい

1. はじめに

古き良き時代では、患者は医師に対して畏敬の念を持ち、医師や医療従事者に対して不当要求を行うことなど非常識と考えられていた。しかし、市民の権利意識の向上およびインターネットによる情報の氾濫により、もはや患者による不当要求に関する問題とは無関係という医療機関は存在しない。

そのため、今後も安定した医療経営を行うために、患者の不当要求問題に対する知識は不可欠である。

2. 患者の不当要求の内容について

不当・過剰要求を行う患者（以下「モンスターペイシメント」と言う。）と一言に言っても、その内容は多種多様である。

まず、暴力・脅迫を伴う要求は、明確な犯罪行為であるため、速やかに警察署に通報を行うことが何よりも重要である。

むしろ、医療機関を悩ませるモンスターペイシメントは、暴力・脅迫の伴わない不当要求である。実際に、私が医療機関から受ける相談事例も、「治療内容に納得できない」「態度が気に食わない」「待ち時間が長すぎる」などを理由として窓口で怒鳴り、治療費の支払を拒否するなどの多い。しかし、暴行・脅迫が伴わない場合、警察による対応が期待できないため、医療機関各自が対策を講じる必要がある。

したがって、本稿では特に暴力・脅迫が伴わない不当要求に対する対処法に関して詳述する。

3. モンスターペイシメント対策

モンスターペイシメント対策として、まず重要なことはモンスターペイシメント対応を現場職員の個々人任せにしないことである。

なぜなら、モンスターペイシメントの多くは、医師ではなく看護師や受付事務などの医療スタッフに対して行う。この場合、具体的な対処方法を事前に定め、職員に周知しておかなければ、職員の誤った対応によって致命的な結果が生じる危険があるからである。

したがって、モンスターペイシメントが出現した場合、どのように対応するのか、その業務フローを医療機関として事前に明確化しておくことが肝要である。

以下の表は、私が顧問弁護士を務めている医療機関に提供している業務フローの一例である。少しでも参考になれば幸甚である。

4. 窓口の対応方法

では、実際に患者から窓口で不当要求を受けた場合にどのように対処すべきか。その対応方法として次の点が大切である。

① 苦情の内容は簡単に聞き取る。

苦情内容を聞き取るとしても10分程度など、聞き取り時間の目安を定めておけば職員も対応しやすい。

② 治療費の減免には応じない。

患者に対して治療費の請求を行わず、社会保険に対してのみ診療報酬を請求することは矛盾した行動となる。また、モンスターペイシメントを不当に利することにもなるため、必要な治療に対する治療費の減免には決して応じてはならない。

③ 聞き取りが完了した場合、退出を求める。

退出を求めてもなお居座る場合には、業務妨害として警察を呼ぶことが好ましい。

もっとも、事前準備や対策を周知していたとしても、悪質なモンスターペイシメントへの対処方法に悩む場面も多い。そのため、医療現場に詳しい弁護士監修のもとに業務フ

ローを定めたうえで、実際にモンスターペイシエントが生じた場合、迅速に弁護士に相談できる環境を整えておくことも大切である。

5. 応召義務との関係

モンスターペイシエント問題に関して、応召義務に悩む医師は多い。

確かに、医療機関は「正当な理由なく」診療を拒否することは禁じられている。しかし、「①不当なクレームを行い、②医師や医療従事者との信頼関係が損なわれ、③正常な医療が継続できないと判断される場合」には、診療を拒否する正当な理由が存在する可能性が高いといえる。

特に、モンスターペイシエントの中には、この「応召義務」を錦の御旗のごとく振りかざし、クレームを言い続け、場合によっては

特別扱いを強要して自らの要求を通そうとする者がいることも事実である。

したがって、モンスターペイシエントに対して、もはや正常な関係を構築できないと判断した場合には、毅然と診察を断ることも大切である。

6. 最後に

医師を父に持つ私は、日本の医療は医療従事者の多大なる自己犠牲によって成立している厳しい環境であることを深く理解している。

だからこそ、厳しい医療現場を崩壊させるモンスターペイシエントを排除することは重要であり、そのためには医療機関が毅然とした対応ができる環境を整備することが不可欠であると考えます。

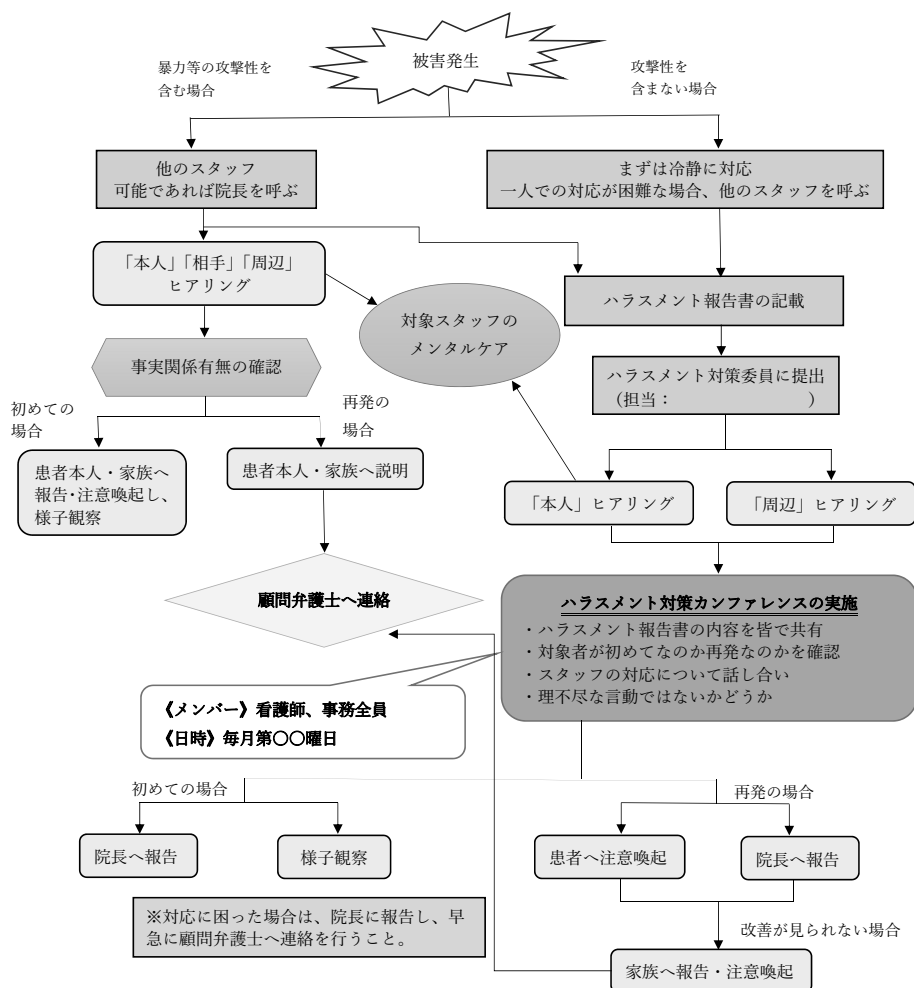


図. パワーハラスメント対策フロー

宮大医学部学生のページ



音楽祭ご報告

第18回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 実行委員長
宮崎大学医学部 医学科4年

さい
崔

あき え
慧 瑩

令和3年7月4日(日)、清武文化会館にて行われました「第18回宮崎大学医学部音楽祭」についてご報告させていただきます。

今回は宮崎医科大学時代より数えまして通算40回目の開催となる音楽祭でした。昨年よりコロナウイルスが猛威を振るい、数々のイベントが中止になる中、音楽祭がその歴史を途絶えさせることなく開催できた裏にはさまざまな方のご支援とご協力がありました。初めに昨年、今年と共催いただいた清武文化会館のスタッフの皆様がこの場を借りて厚くお礼申し上げます。度重なる変更にも迅速に対応していただきありがとうございました。そして音楽祭をご支援いただいた大学関係者の皆様、「このような状況でもできることを見つけて頑張りたい」と言ってくださり、そのお言葉とご支援が音楽祭開催の後押しとなりました。ありがとうございました。

最後に、ともに音楽祭を作り上げてくれた実行委員と出演者の皆様、数々の変更に対応いただき、また音楽祭開催にご協力いただいたこと大変感謝しております。ありがとうございました。

昨年は6月に予定されていた音楽祭が中止になり、11月にリモート音楽祭という形で音楽祭を開催しました。今年は昨年のリモート形式を考慮に入れつつも例年どおりの音楽祭開催を6月13日に予定して準備を進めておりました。しかし、ゴールデンウィーク明けの県の緊急事態宣言、そして大学からの部活動停止措置を受け、音楽祭は延期か中止かを選択せざるを得ませんでした。延期してもこの情勢は良くなるのか、延期することで出演が厳しくなる人が出てくるのではないかと、中止にしたほうがいいのか、などさまざまな意見が出ましたが、最終的には7月4日に延期することになりました。皆が開催できるか未確定でも延期するという方針に決めた背景には、宮崎大学医学部音楽祭の「学生による音楽祭」というコンセプトがあったからではないかと思います。私たちはプロではないので、普通大学在籍期間に音楽祭に出演できるのは最大で、医学科が6回、看護科が4回、その間に卒業される先輩もいれば、入学してくる後輩もいます。各年の音楽祭のステージに1つとして同じものは存在しません。2度と同じメンバーで演奏することはない、最初

で最後で最高の演奏をお客様にお届けしたい、その一心で音楽祭実行委員や出演者たちは準備をし、7月4日の本番にむけて準備をしてきました。

そうして7月4日、延期した音楽祭が何事もなく無事に終わられて本当に良かったです。観客動員数も昨年度の約2倍を記録し、地域の方々に支えられて活動している私たちが、その方々に演奏で恩返しができたことを大変嬉しく

思います。コロナウイルス収束の目途はいまだ立たず、来年度音楽祭のときも大変なことや困難なことがあるかもしれません。しかし、今年がそうであったように最後まで諦めず、可能な限りこの宮崎大学医学部音楽祭という歴史を続けて欲しいと思います。

以上、第18回宮崎大学医学部音楽祭のご報告とさせていただきます。今後とも宮崎大学医学部音楽祭をどうぞよろしくお願い致します。



すずかけ太鼓本番の様子



第18回音楽祭実行委員



管打楽器部リハーサルの様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月7日	- 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その67）」の送付について - 日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第10号】 - ファイザー社ワクチン第9クール・第10クールに係る配分スケジュール等について - 新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種について 「病原微生物検出情報」の送付について - 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について 「糖尿病治療のエッセンス2017」活用状況に関するアンケート調査について - 新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）における「パスポート番号（旅券番号）」、「現在のステータス」及び「場所区分」の入力徹底について
6月8日	「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和2年度調査）の結果について（最終版・情報提供）」の送付について - 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種の専門性を踏まえた対応の在り方等について
6月9日	- 新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例について - 小林化工株式会社の承認取消対象品目の共同開発品目に関する使用薬剤の薬価（薬価基準）の取扱いについて - 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その48） - 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について - 自宅療養者（往診・訪問診療）におけるCOVID-19 JMAT派遣の取扱い等について - 新型コロナワクチンの接種体制の強化に向けた医師・看護師等の兼業に関する取扱いについて 「感染症法に基づく届出の基準等について」の一部改正について - 新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における検体提出等について - 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第4版）」について - 基本配分計画の改訂について（第9・第10クール分） 「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）3.1版 「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編、外国にある第三者への提供編、第三者提供時の確認・記録義務編及び匿名加工情報編）の一部を改正する告示」等に関する意見募集について
6月10日	- 令和2年度「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査の結果」について - 職場における積極的な検査等の実施について - 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた労働安全衛生法等に基づく健康診断の実施に係る対応について 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の一部改正について - 感染拡大地域の積極的疫学調査における濃厚接触者の特定等について - 新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における検体提出等について - 特例居宅介護サービス費等および特別地域加算の対象地域の追加について - 高齢者施設等の従事者等に対する集中的検査の対象施設の拡大等について - 日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第11号】

送付日	文 書 名
6月11日	・プロポフォール製剤等の麻酔薬・鎮静薬が安定供給されるまでのより一層の適正使用等の対応への協力依頼について（周知依頼） ・「使用上の注意」等の改訂について ・医薬品の「使用上の注意」の改訂及び安全性速報の配布等について ・「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ & A」の改定について ・移住支援金制度の周知に係る御協力について（依頼）
6月14日	・医療機関・高齢者施設等への抗原簡易キットの配布事業について ・院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に係る参加医療機関の追加募集について ・新型コロナウイルス感染症に係る検査における巡回診療の医療法上の取扱いについて ・「新型コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）（コミナティ筋注）の使用に当たっての留意事項について」の補遺について ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の養成所等の実習施設への周知事項等について ・介護老人保健施設が自施設の入所者以外の者に新型コロナウイルスワクチンの接種を行う場合の診療所開設等の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第23報） ・令和3年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その5） ・検査料の点数の取扱いについて ・「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の一部訂正について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その68）」の送付について ・材料価格基準の一部改正等について
6月16日	・令和3年度地域医療介護総合確保基金（介護分）管理運営要領の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（医療分）における「新型コロナウイルスワクチン接種体制支援事業」の追加等について ・介護現場におけるハラスメント事例集について
6月17日	・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて（その4） ・出生前検査に対する見解・支援体制について ・介護老人保健施設が自施設の入所者以外の者に新型コロナウイルスワクチンの接種を行う場合の診療所開設等の取扱いについて ・令和3年度介護報酬等改定に関する通知等の送付について（その6）
6月18日	・令和3年度団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業実施団体の二次公募開始のお知らせについて ・第19回九州地区健康教育研究大会について（依頼）
6月21日	・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・リンヴォック錠7.5mg及び同錠15mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その49） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その69）」の送付について ・抗PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・令和2年改正道路交通法に係る協力依頼について ・令和3年8月からの介護保険制度の見直しに係る周知への協力依頼について ・「新型コロナウイルス感染症患者の治療に必要な人工呼吸器無償譲渡について」の一部訂正について ・「医療従事者等向けに配分されたワクチンの有効活用について」に関する質疑応答集（Q & A）について

送付日	文 書 名
6月21日	・新型コロナウイルス感染症により亡くなったことが疑われる方の火葬許可に関する取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の臨床検査技師、救急救命士による実施のための研修について ・ファイザー社ワクチン第9クルの新型コロナウイルスワクチン等の配分について ・「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ & A」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置を実施すべき区域の一部除外等に伴う周知依頼について ・日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第12号】
6月22日	・「産業医紹介」の実施状況に関するアンケート調査と全国医師会産業医部会連絡協議会HPへの掲載について（依頼） ・死因究明等推進計画の策定について（依頼） ・「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の歯科医師による実施について」に関する質疑応答集（Q & A）の更新について
6月23日	・コロナワクチンナビの最新情報の更新について ・今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備の各都道府県における状況について ・傷病の区分に係る専門性の認定を行う団体等の公表について
6月24日	・医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域変更等に伴う周知依頼について ・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における検体提出等について ・（公財）日本産業廃棄物処理振興センター「感染性廃棄物容器の取扱い等に関するアンケート調査結果」等について（情報提供） ・新型コロナウイルス感染症予防接種の間違いの防止について（その2） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を生徒に対して集団で実施することについての考え方及び留意点等について」の周知について（依頼） ・職域接種の実施に伴い複数種類のワクチンを同一医療機関等で使用する場合の取扱いについて ・新型コロナウイルスワクチンの個別接種の促進策の継続及び職域接種における支援策について
6月25日	・抗PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」に係る最適使用推進ガイドラインの改訂に伴う留意事項の一部改正について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その70）」の送付について ・新型コロナウイルス接種に係る支援策について ・新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託契約の変更契約書について
6月28日	・「医薬品等の注意事項等情報の提供について」に関する質疑応答集（Q & A）の一部改正について ・医療用医薬品、体外診断用医薬品、医療機器、再生医療等製品の電子化された添付文書の記載要領について
6月29日	・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・「使用上の注意」の改訂について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その71）」の送付について ・外国人労働者に対する健康診断問診票について（周知依頼） ・診療科名改正に伴う日本医師会の入会・異動手続等の対応について
6月30日	・介護施設・事業所等における災害時情報共有システムについて ・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン供給について（更新情報） ・新型コロナ予防接種の間違い防止について ・内閣府「個別避難計画作成モデル事業キックオフミーティング」の動画掲載について ・「令和3年度エイジフレンドリー補助金」の周知について（依頼） ・令和3年度「愛の血液助け合い運動」の実施について（依頼）

送付日	文 書 名
7月1日	・日本医師会新型コロナワクチン速報【第13号】
7月2日	・被接種者又は保護者からの定期的予防接種後に発生した健康被害に関する報告におけるFAX取扱の廃止等について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・独立行政法人福祉医療機構の一般診療所（無床）等への融資基準となる令和3年度診療所数調について ・移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の運用に関する指針（ガイドライン）の一部改正について ・「免疫アレルギー疾患研究10か年戦略」一部改正について ・ドローンによる医薬品配送に関するガイドラインについて ・グラン注射液75，同注射液150，同注射液M300等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・第31回日本医学会総会ポスターデザイン募集のご案内 ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて（その5） ・新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る集合契約の変更契約の締結について ・短期滞在入国者等であって感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による入院患者の自己負担について（周知依頼）
7月5日	・「オンライン資格確認」集中導入開始宣言に関する説明会開催及び顔認証付きカードリーダー「機種未定」申込の「機種選定」期間延期について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その50） ・「使用上の注意」の改訂について ・宮崎大学医学部附属病院の診療縮小について（通知） ・日本学校保健会主催各種研修会の開催について（依頼） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・ファイザー社ワクチン第10クール及び第10-2クールの新型コロナワクチン等の配分について ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
7月6日	・新型コロナワクチン接種の接種実績入力 of の徹底について ・令和3年7月1日からの大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・催物の開催に係る事前相談等の際のフォーマット等について ・令和3年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その7） ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第24報）
7月7日	・ポスターを用いた蚊媒感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進に関する協力依頼について ・「社会福祉施設における避難の実効性確保に関する取組み等について」の送付について ・令和3年7月3日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第14報） ・ファイザー社ワクチン第10クール及び第10-2クールの新型コロナワクチン等の配分等について（追加連絡） ・ファイザー社ワクチン第11クール・第12クールに係る配分スケジュール等について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第5.1版」の周知について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改定について（3.2版） ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ・第23回医療経済実態調査（医療機関等調査）の協力依頼について

送付日	文 書 名
7月8日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ・医療機関を標的としたランサムウェアによるサイバー攻撃について(注意喚起) ・令和3年7月1日からの大雨による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
7月9日	・基本配分計画の改訂について（第11・第12クール分） ・職場における積極的な検査等の実施手順（第2版）について ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種のために一時的に開設される診療所に対し、卸売販売業者が必要な医薬品を販売する際の取扱いについて ・令和3年7月1日からの大雨による災害にかかる予防接種の取扱いについて ・入国者等に対する健康フォローアップの実施に当たっての留意点について ・人口100万人以上の構想区域における公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について ・「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針（ガイドライン）の一部改正について ・無痛分娩の安全な提供体制の構築について（周知依頼）
7月12日	・職場における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る周知について（依頼） ・「「介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種及び作業に特有の事情に鑑みて事業所管大臣が定める基準等」について」の一部改正について ・令和3年度全国学校保健・安全研究大会（岡山県大会）予報の送付について（依頼） ・短期滞在入国者等であって感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による入院患者の自己負担に関する診療報酬明細書の記載について ・検査料の点数の取扱いについて ・「使用上の注意」等の改訂について
7月13日	・児童養護施設等入所者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

あとかき



てみますと、コロナ関連のさまざまな健康被害は依然として深刻です。特に、昨年のがん検診受診率は例年と比較し3割低下し、少なく見積もっても1万人以上のがんが未発見となっていると発表されております。コロナの影響は、形を変えてまだまだ続きそうですね。東京オリンピックも、残念ながら無観客で開催を迎え、本誌が発刊されるころはパラリンピックが開催中かと思います。長年応援している日本柔道選手団は、今回の大会でも活躍が期待されております。僕の予想だと、男子は金3つ・女子も金3つは確実と予想しています。今大会から男女混合団体戦も実施され、こちらも金メダル間違いないでしょう！オリンピックの価値はメダルの数ではないかもしれませんが、どんな色でもメダルは嬉しいし、日本に活気をもたらしてくれます。オリパラ日本選手団の皆さん、国民に感動を与えていただき、日本にまた活気をもたらしてくれることを願っております。がんばれニッポン！！

(植田)

* * *

アンチエイジングのため筋トレと水泳をしています。筋トレは週5日15分/回程度で腕立て50回、スクワット100回、水泳は週2回、大体1時間で2キロ程度を泳ぐようにしています。しかしながら酒も甘い物もやめられないせいか、ズボンが徐々にきつくなってきています。やはり50歳前くらいから年々、代謝は落ちてきているようです。まだ子どもは7歳。おじいちゃんに間違われぬように頑張らねば。

(稲倉)

* * *

市総合体育館での集団接種に看護師共々参加させていただきました。個別接種についても研修と各種申請手続きを済ませ、さあ7月から開始かと思ったら、あらあらワクチン不足の報道です。さて7/21より東京五輪の競技が開始されました。直前までドタバタしていますが大丈夫でしょうか。開催するからには他国にガタガタ言われぬようにキッチリ感染管理を行って、あとあと“中国で発生したが、拡大させたのは日本だ”と某国に揶揄させる未来は避けて欲しいものです。

(菊池)

* * *

遅ればせながら？ロボット掃除機を買ってみました。ゴミの吸引に加えて、水拭きまでしてくれるすぐれものです。最初は興味津々で、掃除の様子をじっと観察していましたが、規則正しく隅々まで掃除をしていきます。これなら安心と、一旦家を離れてだいふ経って家に戻ってみると、玄関で段差をのぼれず息絶えたロボットを発見しました。ロボットも持ち主も、もうしばらくの学習が必要なようです。

(長井)

6月末、小林地域の広域ワクチン接種に参加しました。特に大きなトラブルもなく終了し、県内のワクチン接種に関われ、大変よい経験になりました。全国的にも県内の接種率は高く、県民一人ひとりの民度の高さをあらためて実感いたしました。また、県内のワクチン接種への協力や日々のコロナ対応で、皆様のコロナ疲れもピークに達していると思われます。全国を見

先日、歯科口腔外科で実習をさせていただきました。歯科といえば、すぐに思いつくのは齲蝕や矯正の治療だったのですが、今回の実習では周術期の患者さんの口腔内を清潔に保つことで、肺炎や重篤な感染症を予防することができる周術期口腔機能管理といった医科歯科連携についてたくさん知ることができました。また、歯が抜けると顎骨がどんどん痩せていくと知ったので、日頃から歯のケアをちゃんとしようと思いました。

(木村)

* * *

ウィンドサーフィンの楽しい季節がやってきました。梅雨明けしたと思ったら雷雨の連続でなかなか晴れてくれませんが、本来なら梅雨明けから9月ごろまではとても良い風が吹きます。灼熱の太陽のもと、海の上を滑走する瞬間は至上というほかにありません。最初慣れるまでは時間がかかりますが、機会があれば皆さんもぜひ挑戦してみてください。ウィンドに限らず、マリンスポーツはとても楽しいですよ。

(平井)

* * *

ワクチン接種が国民の6割を超えたイギリスでは、コロナ関連のほとんどの規制を撤廃しました。WHOからは無謀との非難もありましたが。その昔、彼らの祖先は危険をかえりみずに世界の7つの海に乗り出しました。その冒険心のDNAが受け継がれているのでしょうか。個人的にはエールを送りたい心境です。わが国でもワクチン接種が進めば経済活動に重きを置いた施策が議論されるでしょうから、イギリスの成り行きに注視する必要があるようです。

(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 医師国保とロコモ・フレイル

最新の厚生労働省の国民健康生活基礎調査によると要介護の原因は、1位「認知症」、2位「脳血管疾患」、3位「高齢による衰弱」、4位「骨折・転倒」、5位「関節疾患」となっており、4位と5位に運動器の疾患が続き、両者を合わせると「運動器疾患」の占める割合が多いことから、私たちの健康寿命を高め、生活の質（QOL）を高めるためには運動器の障害を早期から予防することが非常に大事になります。今回、県医師会理事の川野啓一郎先生に、県医師国保組合の組合員への健康維持を目的とした活動をご報告いただきました。

6 ページ

メディアの目 死後もVIP待遇

第2次世界大戦後に戦犯として処刑されたA級戦犯の遺灰が太平洋に散骨されていたことが、アメリカの公文書から明らかになったそうです。連合国軍総司令部（GHQ）は、指導者たちの墓が将来、神聖視されることのないように、遺灰は海に散骨したということですが、戦後76年を迎える日本が、東京五輪、コロナ禍をどう乗り切るか、日本の精神性が問われていることを、共同通信 宮崎支局長の上野敏彦氏に語っていただきました。

22 ページ

診療メモ モンスターペイシエント対策と事前準備について

モンスターペイシエントとは、医療機関に対する不当な要求、言動により、医療機関のスタッフの通常の業務を妨害する患者のことをいいますが、今月号の診療メモは、弁護士の高山桂先生から、モンスターペイシエント対策についてアドバイスをいただきました。我々は治療だけではなく、さまざまな人との関わり方も学ばなくてはいいため、ぜひ参考になればと思います。

74 ページ

日 州 医 事 第864号(令和3年8月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎、木村 桃子、平井 昂也、安藤菜々子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)